

組立取扱説明書・保証書

iD-Motionシリーズ

2モーター/ 3モーター/ 4モーター

iD motion



◆ お願い ◆

このたびは、弊社商品をお買い上げいただきまして誠にありがとうございます。
本書では、適切な組み立て方法と安全にお取り扱いいただくため注意事項を記載しております。
ご使用前に本書を必ずお読みいただき、正しくご使用いただきますようお願いいたします。
また、本書を読み終わった後は、
**「お買い上げ納品書または領収書と共に必要時に取り出しやすい
場所に大切に保管」**していただきますよう重ねてお願い申し上げます。



シモンズ株式会社

お客様相談窓口

フリーダイヤル：0120-316-066

受付時間：月～金 午前 10：00～午後 5：00

(土・日曜日、祝祭日、年末年始及び弊社休日は除きます)

この商品は海外ではご使用になれません。

FOR USE IN JAPAN ONLY

iD-Motion シリーズはこんなことができます。

1. ベッドポジションをコントロール

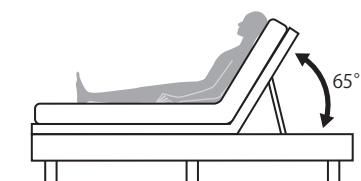
ご購入いただいた機種により、コントロールできるベッドポジションが異なります。

2モーター（以下「2M」） 3モーター（以下「3M」）
4モーター（以下「4M」） という

① 背部の上げ・下げ

■ 機能：背部を水平から65°まで無段階に動かします。

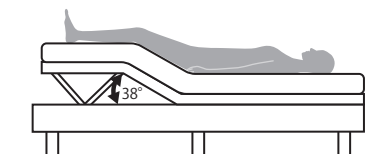
対応機種：2M、3M、4M



② 脚部の上げ・下げ

■ 機能：脚部を水平から38°まで無段階に動かします。

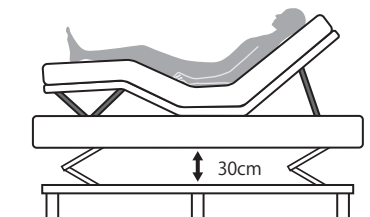
対応機種：2M、3M、4M



③ ベッド全体の高さ調整

■ 機能：ベッドを水平から30cmまで無段階に動かします。

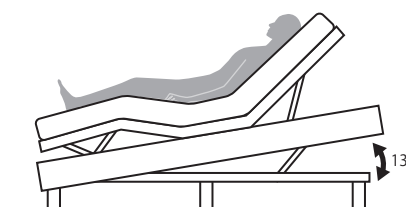
対応機種：3M、4M



④ プラスモーション（ベッド全体の角度上げ・下げ）

■ 機能：ベッドを水平から13°まで無段階に動かします。
角度を上げる時は連動して脚部の高さも上がります。

対応機種：4M



2. ベッドポジションのメモリー

① マイポジション機能

■ 設定してあるお好みのポジションに、ベッドを調節します。

iD-Motion シリーズはこんなことができます。

3. スマートフォン・タブレットによるベッド操作

① リモコン操作

- 商品に付属する専用のリモコン同様に操作することができます。

② アラーム機能

- 起床・就寝時刻など、好みの時間を設定し、設定した時間になると予め設定したポジションに自動で動作することができます。

下記、オプションをご購入いただくことで、機能を拡張できます。

4. 音声によるベッド操作 対応機種：2M、3M、4M

音声コマンドで操作（音声コマンド一覧は、本書40ページをご参照ください）

- 音声コマンド「ハローアイディ」、「ハローモーション」で音声コントローラーが起動します。
- 「背中を上げて」などの専用のコマンドの呼びかけに反応し、ベッドを操作することができます。

5. ハンドレール（手すり） 対応機種：2M、3M、4M

ハンドレール（手すり）の取付けが可能

- 弊社が指定するハンドレールの取付けができます。

6. ヘッドボード 対応機種：2M、3M、4M

ヘッドボードの取付けが可能

- 弊社が指定するヘッドボードの取付けができます。

7. 外付けフレーム 対応機種：2M

カバーフレームの取付けが可能

- 弊社が指定するカバーフレームの取付けができます。
- ※取付け方法はカバーフレームに付属されている組立説明図をご確認ください。

本書はiD-Motion全 シリーズ機種、オプション商品に関する説明も含まれております。

本製品は、ご自宅での通常使用（睡眠や休息）を目的としたベッドです。
目的以外のご使用はおやめいただきますようお願いいたします。
本書では、安全にご使用いただくためにいろいろな表示をしています。
記載事項をよくお読みいただき、ご理解いただきますようお願いいたします。
また、記載事項内容をお守りいただきますよう合わせてお願いいたします。

「使用上の注意」、「設置上の注意」、「ワイヤレス充電機能についての注意」、
「リモコンについての注意」を必ずお読みください。(7～14ページ)

目次

SIMMONS

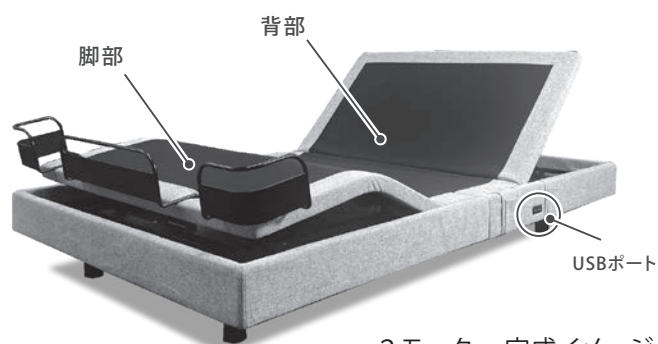
[1] 各部の名称	4
[2] 使用上の注意	7
[3] 設置上の注意	12
[4] ワイヤレス充電機能についての注意	13
[5] リモコンについての注意	14
[6] 組み立て上の注意	15
[7] 組み立て方	16
[8] リモコンの操作方法	35
[9] 音声コントローラーの操作方法	39
[10] USBポートについて	41
[11] サイドフレームのポケットについて	41
[12] お手入れ・定期点検	42
[13] 故障かな?と思ったら	44
[14] 停電が起きたら	45
[15] 仕様	46
[16] 製品の長期使用について	47
[17] アフターサービスについて	48
[18] 保証書	48

※本書で説明の為に使用している写真はイメージです。現物と異なる部分や表現がある場合もございます。

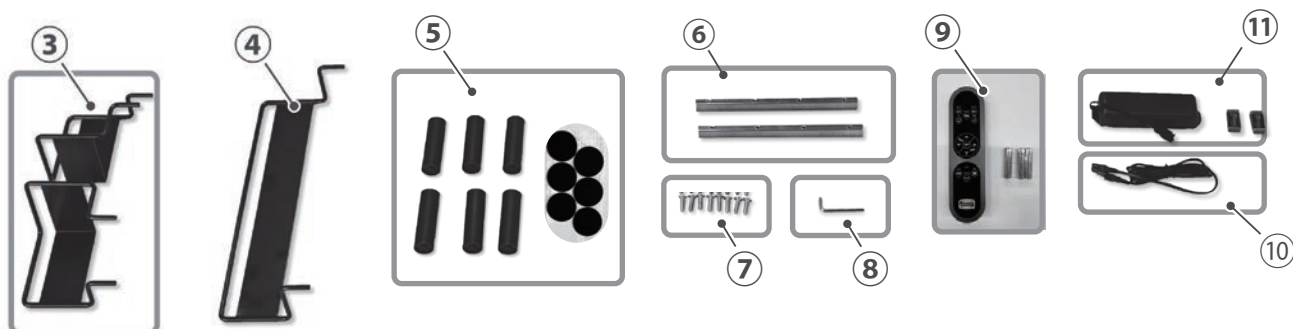
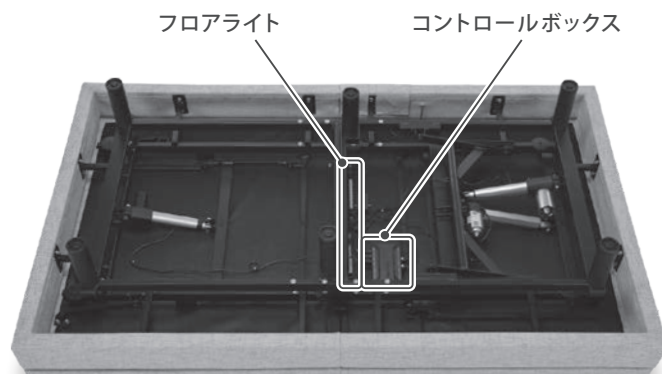
[1] 各部の名称

SIMMONS

[2 モーター]



2 モーター 完成イメージ



番号	名称	数量	備考
①	本体（頭側）	1	USBポート付き
②	本体（脚側）	1	マットレス留めの挿入穴あり
③	マットレス留め（コーナー）	2	左右共通
④	マットレス留め（センター）	1	
⑤	脚	6	2M専用部品 脚保護フェルト付属
⑥	連結バー	2	2M専用部品
⑦	ボルト（M8×25）	8	予備：1 総数量：9
⑧	六角レンチ	1	
⑨	2モーター専用リモコン	1	2M専用部品 乾電池4形 3本付属
⑩	電源コード	1	
⑪	電源アダプター	1	乾電池 9V型 2本付属 ※停電時用

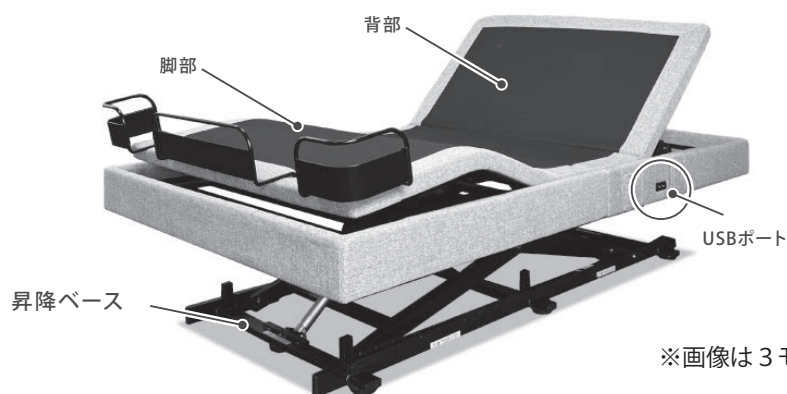
乾電池4形が3本、乾電池9V形が2本同梱されています。

※乾電池4形3本はリモコンに使用します。※乾電池9V形2本は停電時の電源として使用します。詳しくは45ページをご参照ください。

[1] 各部の名称

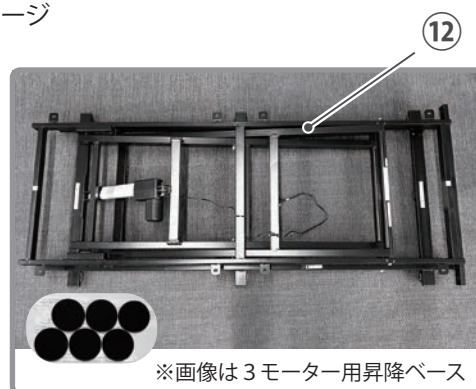
SIMMONS

[3モーター、4モーター]

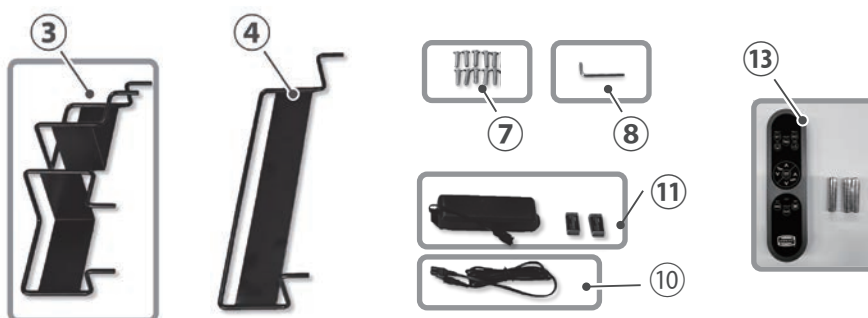


※画像は 3 モーター

3・4モーター 完成イメージ



※画像は 3 モーター用昇降ベース



番号	名称	数量	備考
①	本体（頭側）	1	USBポート付き
②	本体（脚側）	1	マットレス留めの挿入穴あり
③	マットレス留め（コーナー）	2	左右共通
④	マットレス留め（センター）	1	
⑦	ボルト（M8×25）	8	予備：1 総数量：9
⑧	六角レンチ	1	
⑩	電源コード	1	
⑪	電源アダプター	1	乾電池 9V型 2本付属 ※停電時用
⑫	昇降ベース	1	3Mまたは4M専用部品 脚保護フェルト付属
⑬	3Mまたは4M専用リモコン	1	3Mまたは4M専用部品 乾電池4形 3本付属

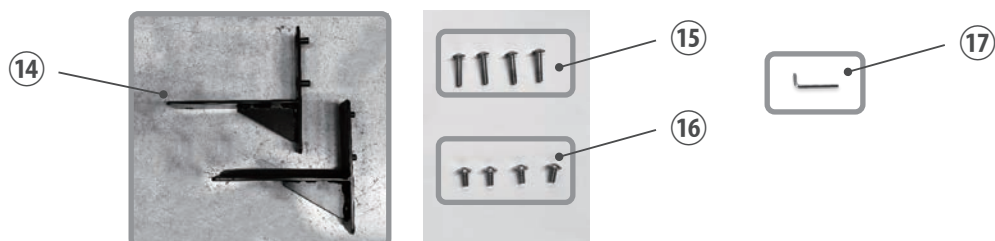
乾電池4形が3本、乾電池9V形が2本同梱されています。

※乾電池4形3本はリモコンに使用します。※乾電池9V形2本は停電時の電源として使用します。詳しくは45ページをご参照ください。

[1] 各部の名称

SIMMONS

[オプション機器]



番号	名称	数量	備考
⑭	ヘッドボード取付け金具 (2M専用)	L : 1/R : 1	
⑮	ボルト (M8×35)	4	予備: 1 総数量: 5
⑯	ボルト (M8×25)	4	予備: 1 総数量: 5
⑰	六角レンチ	1	



番号	名称	数量	備考
⑱	ヘッドボード取付け金具 (3M、4M用)	L : 1/R : 1	
⑲	ボルト (M8×35)	8	予備: 2 総数量: 10
⑳	六角レンチ	1	



番号	名称	数量	備考
㉑	音声コントローラー	1	



番号	名称	数量	備考
㉒	ハンドレール	1	
㉓	ボルト (M8×25)	2	予備: 1 総数量: 3
㉔	六角レンチ	1	

[2] 使用上の注意

SIMMONS

ここに示した注意事項は製品を安全にお使いいただき、人や財産への危害、損害を未然に防止するためのものです。誤った取扱いをすると生じることが想定される内容を、危害や損害の大きさの程度に応じて「警告」と「注意」の2つに区分して説明しています。いずれも安全に関する重要な内容ですので必ず守ってください。



警告

この表示を無視して誤った取扱いをすると、死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



注意

この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が軽傷または中等傷を負う可能性および製品や製品以外の家屋・家財、ペットなどの損害の発生が想定される内容を示しています。

組合せの警告事項



警告

ベッドに直接取付けて使用するオプション商品・マットレスは、弊社が指定する適合品を使用してください

- 適合品以外の製品や他社品と組み合わせると、安定性の低下などにより転落による骨折等のケガやベッド本体が故障したりマットレス・オプション商品が破損するおそれがあります。

ベッド操作時の警告事項



警告

1. ベッドの操作を行う際は、ベッドの可動部とフレーム、壁や周りのものとの間に身体の一部を入れないでください

- ベッドの可動部とフレームや、マットレス留め同士のすき間や、マットレスとマットレス留めのすき間などとの間に身体の一部がはさまれて、ケガをするおそれがあります。
- 2台のベッドを並べて使用する際は、隣のベッドの動作にご注意ください。隣のベッドの可動部とフレームなどとの間に身体の一部がはさまれて、ケガをするおそれがあります。
- ベッドの下に潜り込んだ状態で、ベッドの操作を行わないでください。閉じ込められたり、身体の一部がはさまれてケガをするおそれがあります。
- 乳幼児やお子様はベッド周辺で遊ばないよう注意してください。
- ベッド操作は、ベッドの下や周辺に乳幼児やお子様、障害物がないことを確認してから行ってください。
- オプション商品取付けの機種は、マットレスとの間にすき間が発生します。身体の一部がはさまれてケガをするおそれがあります。

2. ベッド操作は正しい向き、姿勢で寝た状態で行ってください

- ベッドの頭側・脚側を間違えて寝た状態で背上げ・脚上げ動作を行うとベッド利用者が無理な姿勢となり、ケガをするおそれがあります。
- 仰向け以外の姿勢（うつ伏せや横向き）で寝た状態での角度調整は、関節を逆に曲げることとなり、ベッド利用者が無理な姿勢となり、ケガをするおそれがあります。

3. 操作を理解できないと思われる方(0歳～5歳の乳幼児やお子様、認知症の方など)に操作させないでください

- ベッド利用者や操作者が誤ってベッドに身体がはさまれる、ベッドから転落など思わぬケガをするおそれがあります。操作方法が理解できない方がベッドを利用される場合は、操作方法が理解できる付添いの方が操作を行ってください。また、操作方法が理解できない方や、乳幼児やお子様などが1人でリモコンや音声コントローラーを使い操作する可能性がある場合には、電源プラグを抜くなどの対応により誤操作による事故を未然に防いでください。

4. ベッド利用者以外の方がベッド操作を行うときは、ベッド利用者の状態に注意してください

- ベッド利用者以外の方が、不意にベッド操作(リモコン・音声・アプリ)を行うと思わぬケガをするおそれがあります。
- ベッド操作中に利用者が動くと、ベッドの可動部とフレームなどの中にはさまれて、ケガをするおそれがあります。
- ベッド利用者が仰向け以外の姿勢で寝た状態で操作を行うと、関節を逆に曲げることとなり、ケガをするおそれがあります。

5. プラスモーションの操作によりベッド全体の角度を上げた状態では、ベッドの乗降りはしないでください

- プラスモーション（1ページをご確認ください）により角度上げ操作後は、ベッドの高さが変わるため、ベッドへの乗降りの際に転倒・転落してケガをするおそれがあります。

転落・転倒の警告事項



警告

1. 上がった状態の背部や脚部を手すり代わりにするなどして大きな負荷をかけないでください

- つかまったり、立ち上がったるときなどに支えとして使用すると、背部や脚部が倒れ、転倒してケガをするおそれがあります。
- 背部や脚部が倒れ、転倒や倒れた背部・脚部とフレームなどとの間にはさまれるなど、ケガをするおそれがあります。

2. ベッドを踏み台代わりにしたり、ベッド上で飛び跳ねたりしないでください

- ベッドから転落・転倒してケガをしたり、ベッドが故障したりするおそれがあります。特にお子様には十分注意してください。
- 背部・脚部の支持部に大きな力がかかり、破損・変形の原因となります。

3. 乳幼児やお子様には使用しないでください

- 本製品は0歳～5歳の乳幼児やお子様向けに設計されていません。
- 誤ってベッドに身体がはさまれる、ベッドから転倒・転落など思わぬケガをするおそれがあります。

4. ベッドに飛び乗ったり、勢いよく座ったりしないでください

- ベッド上の左右どちらか一方に強い衝撃が加わった場合、逆側のベッドの脚が浮き上がり、床面を傷つけたり、ベッド本体が倒れてケガをするおそれがあります。
- ベッドから転落・転倒して、ケガをするおそれがあります。

5. マットレスから身を乗り出さないでください

- 転落してケガをするおそれがあります。特に厚みのあるマットレスを使用する場合は、床からの高さが高くなるためご注意ください。
- 予測できない行動を取る可能性がある方や体位を自分で保持できない方がベッドを利用する場合、付添い人などが利用者から一時的に目を離す際は、利用者がベッドから転落するおそれがありますので、万一のベッドからの転落に備え、背部・脚部・全体の角度を水平にしてください。
- オプション商品 ハンドレール（手すり）ご購入の場合もベッドからの転倒にご注意ください。

6. ベッドの背を上げた状態やプラスモーションでベッド全体の角度上げをした状態で使用する場合は十分ご注意ください

- バランスを崩して転倒・転落してケガをするおそれがあります。

7. ヘッドボードやハンドレール（手すり）へ腰掛けたり、ぶら下がる、乗る、よりかかる、持ち上げる等しないでください（オプション商品）

- ベッドから転落・転倒して、ケガをしたり、ヘッドボードやハンドレール（手すり）が破損・変形してケガをするおそれがあります。

電装品について警告事項



警告

1. リモコン、音声コントローラーなどの電装品の取扱いに注意してください

- ぶつかけたり、傷をつけたり、落としたりしないでください。
- ベッドが誤作動してベッド利用者や周囲の方がケガをしたり、故障したりする原因となります。
- 電装品が破損してしまったときは直ちに使用をやめ、お買い上げいただいたお店または弊社お客様相談窓口（43ページ）まで連絡してください。

2. コード類（電源コードなど）は正しく配線し、傷つけないでください

- ベッドの可動部でコード類をはさんだり、ベッドでコードを踏みつけたり、コード類に重いものを置いたり、また、コード類を無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったりしないでください。コード類が破損し、感電・火災のおそれがあります。
- コード類が破損してしまったときは直ちに使用をやめ、コンセントから電源プラグを抜いて、お買い上げいただいたお店または弊社お客様相談窓口（48ページ）まで連絡してください。

電装品についての警告事項



警告

3. 電源コードや音声コントローラー（オプション商品）のコードに足を引っかけないようにしてください

- 電源プラグやコードが破損し、感電・火災のおそれがあります。
- 転倒してケガをするおそれがあります。

4. 本製品以外のコード類は、ベッドの内部やベッドの下を通さないでください

- コード類が破損し、感電・火災のおそれがあります。
- やむを得ずその他の機器のコードをベッド内部やベッドの下に通す場合は、ベッドの脚や可動部などでコードを踏みつけたり圧迫することのない場所を通してください。

5. お手入れや掃除などの際は、電源プラグを抜いてください

- 不意にリモコンに触れたり、お手入れを行っていることに気づかずにベッド利用者等が操作するなどしてベッドが動作して、ケガをするおそれがあります。

6. 電源プラグを抜くときは、電源プラグを持って抜いてください

- 電源コードのみを持って引っ張るとコードが傷んで破損し感電・火災のおそれがあります。

7. 電源プラグに無理な力を加えないでください

- 電源プラグが破損し、感電・火災のおそれがあります。

8. 電源プラグにほこりやゴミを付着させないでください

- 湿気などが付着して絶縁不良となり、ショートして感電・火災のおそれがあります。

9. 濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください

- 感電したり、故障したりするおそれがあります。

10. モーターやリモコン、音声コントローラー（オプション商品）などの電装品を水などで濡らさないでください

- 濡れた電装品に触れると感電したり、故障したりする原因となります。
誤って水などがかかってしまった場合は、電源プラグをコンセントから抜き、乾いた布などでよく拭き取ってください。
動作しない場合は、直ちに使用をやめ、お買い上げいただいたお店または弊社お客様相談窓口（48ページ）まで連絡してください。

11. 付属の電源コードと電源アダプター以外を使用しないでください

- 付属されている電源コードと電源アダプターはセットで使用する機器です。
付属されている電源コードと電源アダプター以外の機器と組み合わせて使用することはできません。
付属の電源コードと電源アダプター以外を使用すると、感電・火災の原因となるおそれや、故障するおそれがあります。

12. リモコンはベッドサイドフレームのリモコン収納用ポケットに入れて保管してください

- ベッド上に置いたままにしておくと、リモコンが身体で誤って圧迫されたり、無意識に触れるなどしてベッドが不意に動作し、身体の一部がはさまれて、ケガをするおそれがあります。

13. 長期間使用しない場合は、コンセントから電源プラグを抜いてください

- 電源プラグをコンセントに差し込んでいると、使用していなくても待機電力が発生しています。
電源プラグにほこりやゴミ、湿気などが付着すると絶縁不良となり、ショートして感電・火災につながるおそれがあります。

点検・修理についての警告事項



警告

1. お客様による修理・改造はしないでください

- 意図せぬすき間の発生や異常動作などにより、ケガをするおそれがあります。
- ベッドの破損、故障の原因になります。また、破損による、感電・火災のおそれがあります。

2. ベッドは定期的に点検してください

- 使用の頻度や環境により、製品は摩耗・劣化します。定期的に各部のゆるみ、可動部の動作、破損の有無などを点検してください。ベッドの転倒により思わぬケガをするおそれがあります。

3. 被災したベッドは点検・修理を依頼してください

- 地震・火災・水害などで被災したベッドは、そのまま使用すると感電・火災の原因となったり、ベッドの動作異常で、ケガをするおそれがあります。
万が一、ベッドが被災した場合は、直ちに使用をやめ、電源プラグをコンセントから抜き、ご購入いただいたお店または弊社お客様相談窓口（48ページ）まで連絡してください。

その他警告事項



警告

1. ベッドと壁や周りのものとのすき間にはさまれないように注意してください

- 身体の一部をはさむと、ケガをするおそれがあります。
- 特にお子様がすき間やベッドの下に入り込んだり、身体の一部を入れたりしないように十分注意してください。

2. ベッド可動部に衣類などが絡まないように注意してください

- 衣類などが絡まった状態でベッドを操作すると、ケガをするおそれがあります。
- ベッドの乗り降りなどのときに転倒して、ケガをするおそれがあります。
- ベッドの破損、故障の原因になります。

3. ベッドに火気を近づけないでください

- ベッドの近くで、ストーブなどの熱機器を使用しないでください。変質・変形・火災などの原因となります。

4. ベッドをご使用される方の体調に合わせてご使用ください

- ベッド利用者の体調によっては、ベッド操作による体勢の変化によって、体調や持病を悪化させる可能性があります。
- ベッドの操作により利用者の体調や持病が悪化する懸念がある場合は、かかりつけの医師等に相談してください。



1. 2人以上で使用しないでください

- このベッドは1人用の設計になっています。2人以上で使用すると、ベッドが破損してケガをするおそれがあります。

2. ベッドに耐荷重を超える荷重を加えないでください

- 耐荷重は、ベッドを安全に使用できる荷重です。別ページ（46ページの仕様欄 耐荷重）をご参照下さい。
耐荷重を超える荷重を加えるとベッドが破損して、ケガをするおそれがあります。
※利用者体重+マットレスの重量+付属品の重量

3. 背部、脚部の角に身体をぶつけないように注意してください

- 歩行中やベッドに乗り降りする際にケガをするおそれがあります。

4. ベッドの組み立ての際、指定の取付位置にボルトで確実に固定されていることを確認してください

- 取付けが不完全（ガタつくなど）な場合、ベッドが破損・変形する原因となります。
また破損・変形によりベッド利用者や周囲の方が思わぬケガをするおそれがあります。

5. ベッドに濡れたタオルなど水気のあるものを置かないでください

- ベッドが破損・変形するおそれがあります。
水分などが付いた場合は、乾いたタオルなどですみやかに拭き取ってください。
ベッドが破損・変形した場合、ベッド利用者や周囲の方がケガをするおそれがあります。

6. ベッドに直射日光や熱、冷暖房器の風、加湿器などの蒸気を直接当てないでください

- ベッドが破損・変形・変質するおそれがあります。
水分などが付いた場合は、乾いたタオルなどですみやかに拭き取ってください。
ベッドが破損・変形した場合、ベッド利用者や周囲の方がケガをするおそれがあります。

7. ベッドの連続運転（2分間以上）をしないでください

- 連続動作を繰り返した場合、モーターが故障するおそれがあります。
モーターの故障により、背部や脚部が倒れケガをするおそれがあります。

8. プラスモーションを使用するときは、壁や床、壁のコンセントに気をつけてください

- プラスモーション操作（ベッド全体の角度上げ・角度下げ）中に壁や床などに接触・衝突し、ベッドや壁・床などが破損・変形するおそれがあります。
ベッドはプラスモーション操作で上下に約35cm動きます。ご使用のときには、ベッド動作でベッドが壁や床、電源プラグに当たらないことを確認してください。
- 脚の組み合わせによりベッドの高さが約10cm変わりますので注意してください。

ベッドを設置するにあたり、下記の注意事項を守ってください。
一度組み立てると部屋の中での移動や向きの変更が困難な場合があります。



1. 延長コードの使用やたこ足配線を行わず、電源はコンセントから直接取ってください

- 延長コードの使用やたこ足配線などで定格を超えると、発熱による火災のおそれがあります。

2. 必ずAC100Vで使用してください（日本国内専用）

- 本製品は日本国内専用のため、海外で使用しないでください。火災や感電、故障のおそれがあります。

3. 電源プラグの抜き差しができなくなるような場所には設置しないでください

- 誤操作によるケガを防止するために、電源プラグを抜くことが必要になる場合があります。
- 電源プラグの抜き差しができなくなるような場所に設置すると、必要なときに電源プラグを抜くことができず、誤操作によるケガをするおそれがあります。



1. ベッド周辺のスペースを確保してください

- ダニやカビが発生しやすい高温多湿の場所は避け、湿気がこもってダニやカビが発生しないよう、ベッド側面部は壁から5cm以上離して設置してください。
- 周りの家具や備品、部屋の構造物（扉の開閉など）に当たらないことを確認してください。
ベッド本体・家具や備品・部屋の構造物などが破損するおそれがあります。
- プラスモーション（ベッド全体の角度上げ・角度下げ）により角度を変える際、ベッドは前後に動きますので、頭側・脚側のどちらも壁から「10cm以上」離して設置してください。※側面部は湿気対策のため、「5cm以上」離してください。
ベッド本体・家具や備品・構造物などが破損するおそれがあります。

2. ベッド使用時に床にかかる荷重に耐えられる場所に設置してください

- ベッド本体の重量は46ページの仕様をご確認ください。
このベッド本体の重量にマットレス等の寝具及びヘッドボード等付帯機器、また利用者の体重を加えた総重量がベッド使用時にかかる最大重量となります。この最大重量に耐えられる場所に設置してください。床などが破損するおそれがあります。

ベッドの故障原因となるので、次のような場所への設置はしないでください

- | | |
|------------------------|----------------------|
| ■ 直射日光の当たる場所 | ■ 換気の悪い場所 |
| ■ 冷暖房器による冷風や暖気が直接当たる場所 | ■ 振動や衝撃の多い場所 |
| ■ 過度の水気、油気のかかりやすい場所 | ■ 床が平らでない場所 |
| ■ 高温、多湿、低温、乾燥した場所 | ■ 畳などの床がやわらかく凹みやすい場所 |

※ワイヤレス充電は音声コントローラー（オプション商品）の機能です

ワイヤレス充電機能についての警告事項



1. ワイヤレス充電に対応したスマートフォン以外のものを音声コントローラーの充電部に置かないでください

■ 発熱や発火により、やけど、破損、火災のおそれがあります。

2. 音声コントローラーの充電部と充電するスマートフォンとの間に金属製の物質（フィンガーリング等の金属製アクセサリー、アルミシール、クリップ等）をはさまないでください

■ 発熱や発火により、やけど、破損、火災のおそれがあります。

3. 音声コントローラーの充電部と充電するスマートフォンの接する面はゴミなどの異物を取り除いてご使用ください

■ 発熱や発火により、やけど、破損、火災のおそれがあります。

4. スマートフォンの充電中に布団やシーツ類などの可燃物がかぶさらないようにしてください

■ 発熱や発火により、やけど、破損、火災のおそれがあります。

5. ペースメーカーなどの医療機器をお使いの方は、必ず医師に相談の上ご使用ください

■ 音声コントローラーの充電部とペースメーカーを十分離してご使用ください。

本機器がペースメーカーに影響を与え、体調不良を起こすおそれがあります。

■ 本機器の影響によりペースメーカーに異常がみられる場合は直ちにご使用を中止してください。

6. 過充電防止機能のないスマートフォンは充電が完了したら充電部から外してください

■ 発熱や発火により、やけど、破損、火災のおそれがあります。

■ 過充電防止機能のあるスマートフォンは、当該機能をオンにして充電してください。

7. 充電するスマートフォンの説明書をよくお読みになりご使用ください

■ 誤った取扱いをすると、発熱や発火によりやけどや火災、またベッドの破損・変形により、ベッド利用者がケガをするおそれがあります。

ワイヤレス充電機能についての注意事項



1. 磁気カードや磁気記憶メディアなどを充電部に近づけないでください

■ データが消失するおそれがあります。

リモコンについての警告事項



警告

ペースメーカーなどの医療機器をお使いの方は、必ず医師に相談の上で使用ください

- リモコンとペースメーカーを十分離してご使用ください。本機器がペースメーカーに影響を与え、事故や体調不良を起こす恐れがあります。
- 本機器の影響によりペースメーカーに異常がみられる場合は直ちにご使用を中止してください。

リモコンについての注意事項



注意

下記内容の取扱いは事故やリモコンの故障などの原因となるので絶対にしないでください

- 指定以外の電池を使用しないでください。
- (+) と (-) を逆に入れるなどの誤った使い方をしないでください。
- 新旧、異種の電池を使用しないでください。
- 被覆の剥がれた電池を使用しないでください。
- 長期間使用しないときは電池をリモコンに入れたままにしないでください。電池液漏れの原因となります。
- 分解しないでください。
- 落としたり、踏みつけたりしないでください。
- 水をかけたり、水の中に入れたりしないでください。

リモコンの取扱いについて

- 本製品は2.4GHz帯を使用しています。
- リモコンの位置や向きにより、ベッドが動いたり動かなかったりする場合があります。
- 金属構造物付近や遮へいされた場所などでは受信しにくいことがあり、動作距離が短くなる場合があります。
- 高周波機器や高圧機器、電子機器、溶接機器などが付近にある、もしくはそれらを使用している工場などが付近にあるとき、電磁ノイズを拾って動作距離が著しく短くなる場合があります。
- リモコンを2台以上使用して操作を行う場合は、リモコン同士を1m以上離してご使用ください。
混信により動作不良のおそれがあります。
- リモコンのボタンを2つ以上同時に押すと動作しない場合があります。
その際は、それぞれ再度ボタンを押し直してください。

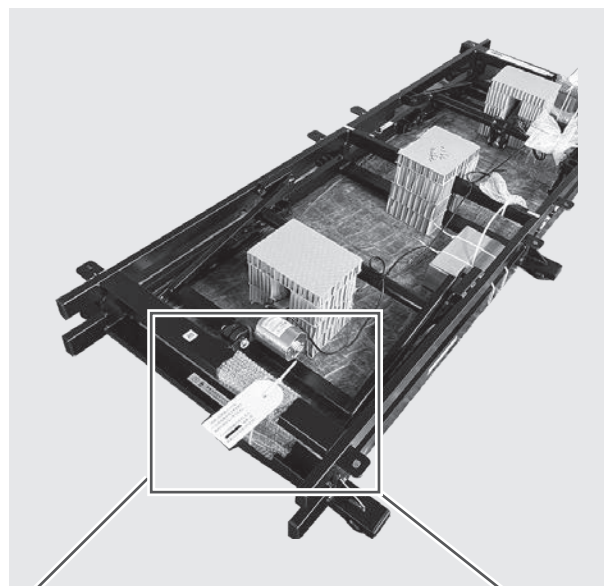
組み立て上の警告事項



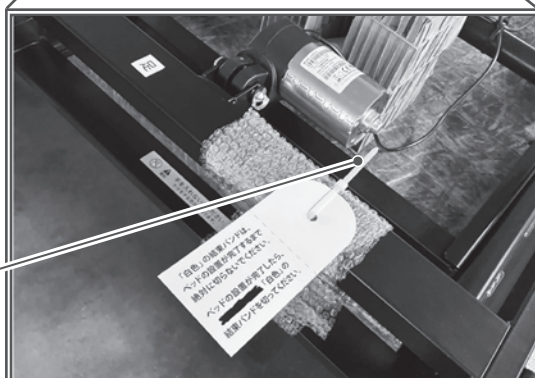
警告

昇降ベースのフレームを締結している「白色」の結束バンドは、ベッド本体の設置が完了するまで絶対に切らないでください。

- 結束バンドを切った状態で組立作業や移設などでベッドを持ち上げたりすると、フレームが落下してケガをするおそれや、ベッドや壁などが破損・変形するおそれがあります。
- 誤って切ってしまった場合や移設、解体・再組立を行う場合、結束バンドや紐などを使用してフレームを締結してから作業を行ってください。



「白色」の結束バンド



組み立て上の注意事項



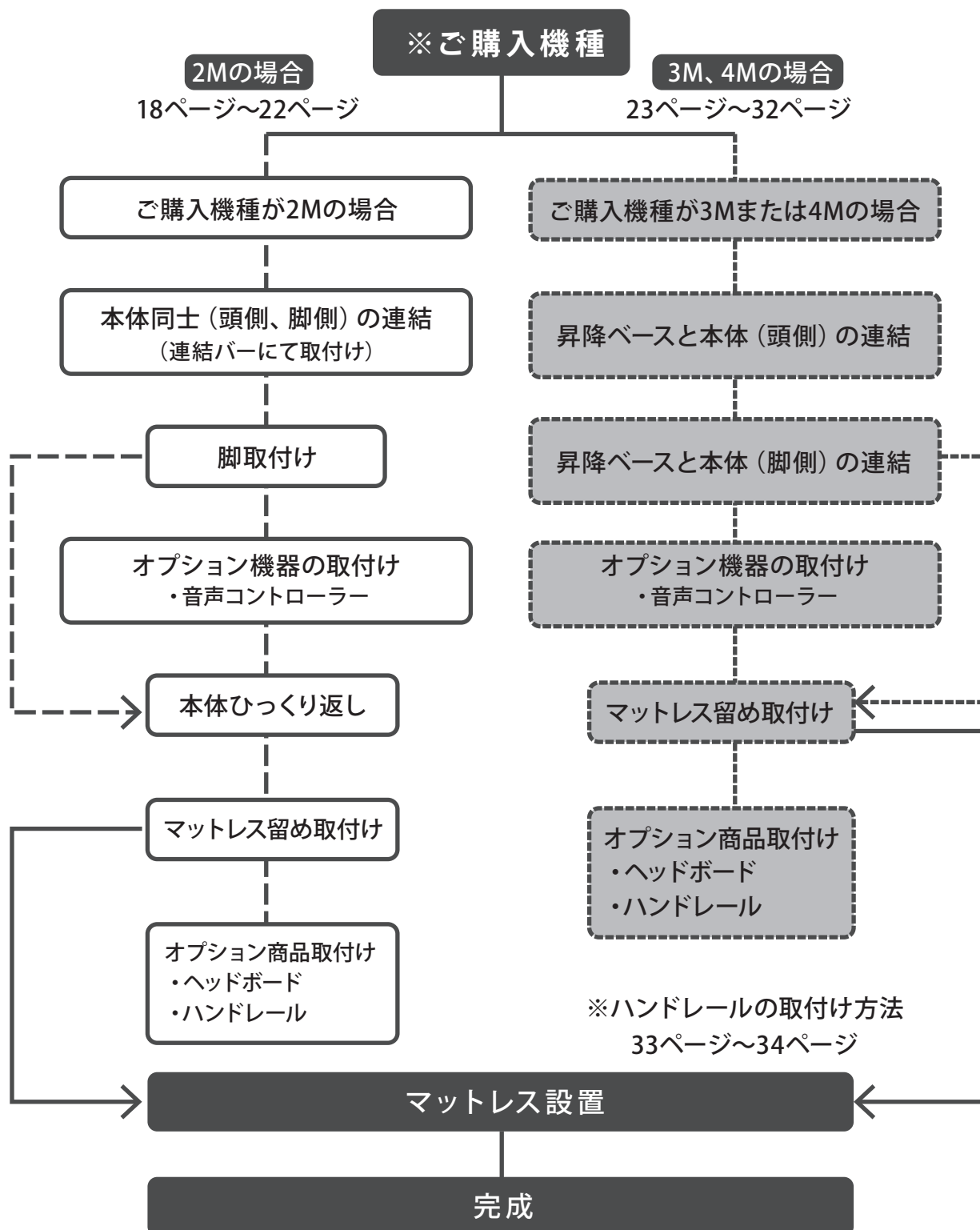
注意

- 組み立てる場所を確保してください
- 床や壁、ベッド本体をキズつけないように、組み立てる場所に厚手の布などを敷いて養生してください。
- 本書に記載された順番どおりに組み立ててください。
順番を守らないと、組立不良やベッド本体の破損原因となります。
- 組み立てる際は、2人以上で行ってください。
- 手をケガしないように手袋を着用し、手や指をはさまないよう十分に注意してください。
- 部品をなくさないように取り扱いに注意してください。

組み立て方の流れ

(オプション商品のご購入がなければ、次の組み立てに移ってください)

※ご購入の機種によって組み立て方に違いがあります



組み立て作業のポイント

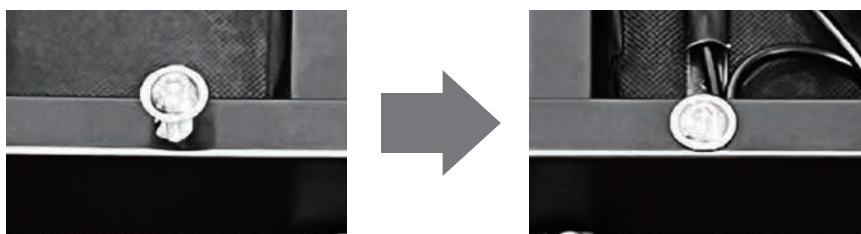
1. 「黄色」の結束バンドを必ず切って、フレームから取り外し、フレーム間の養生材を取り除いてから組み立て作業を行ってください

- 「黄色」の結束バンドの切り忘れに注意してください。
切らずに組み立てを行い、ベッドを動作させてしまうとベッドが破損するおそれがあります。
- 結束バンドを切る際、ケーブル類を傷つけたり断線させてしまわないよう注意してください。
- 切った結束バンドは必ずフレームから取り外してください。
フレームに残ったままの場合、切断面で指を切るなどケガのおそれがあります。
- フレーム間の養生材の取り外し忘れに注意してください。
取り外せずに組み立てを行ってしまうと、取り外せなくなる可能性があります。
養生材が残ったまま動作させてしまうと、ベッドが破損するおそれがあります。

2. 頭側本体と脚側本体の固定の際、ボルトは最初からきつく締め付けないでください。

ボルトを締め付ける時は、7～8割くらいに仮締めをし、すべてのボルトが仮締めし終えたらしっかり締め付けてください。

最初からボルトをきつく締め付けると他の取付穴と位置が合わなくなるおそれがあり、組み立てできません。
無理に締め付けると、ベッド全体の歪みの原因となりますので注意してください。

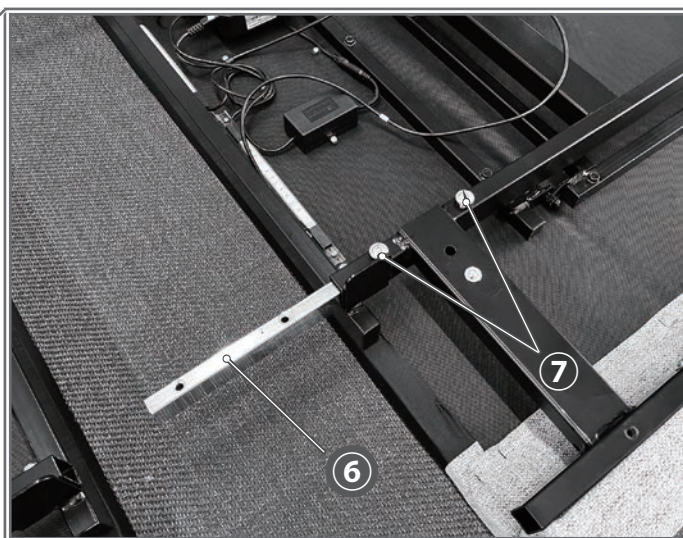
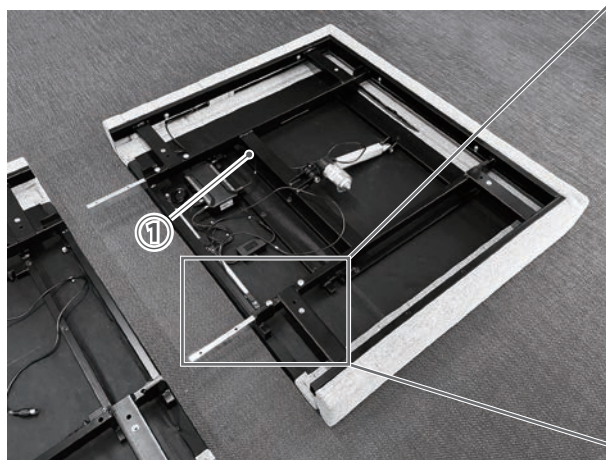


7～8割仮締め

本締め

※すべてのボルトを7～8割くらいに仮締めしてからしっかり締め付けてください。

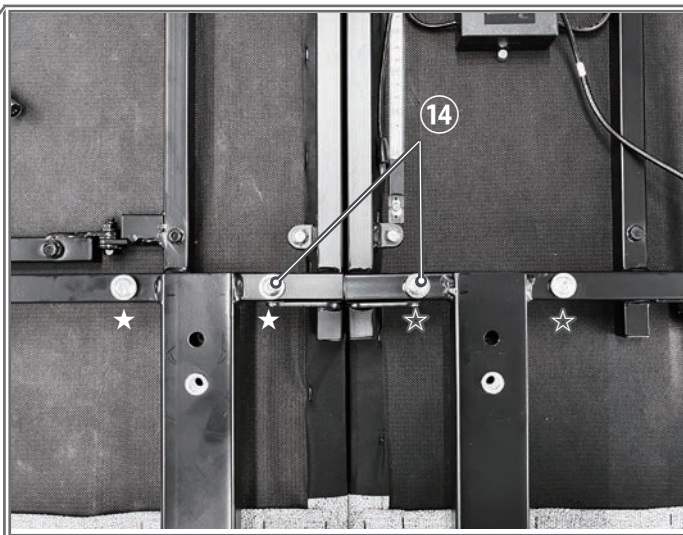
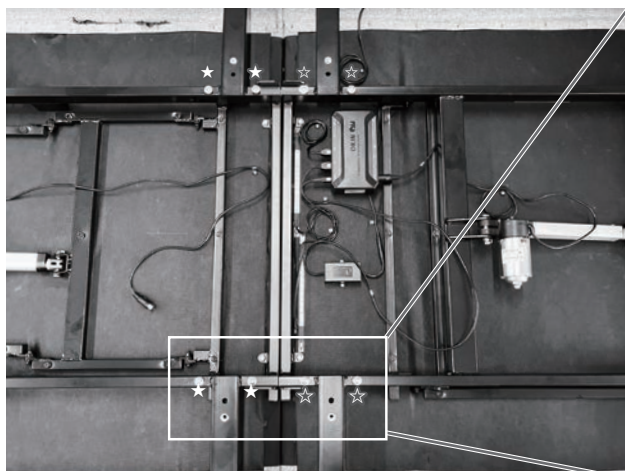
1



頭側本体 (①) を取り出し、裏返した状態で連結バー (⑥) を取り付けます。(左右各1個)

取り付ける際、ボルト (⑦) は締め込みすぎず7〜8割くらいの仮締めにしてください。(左右 各2カ所 計4個)

2



☆…脚側本体ボルト締め付け箇所 ☆…頭側本体ボルト締め付け箇所

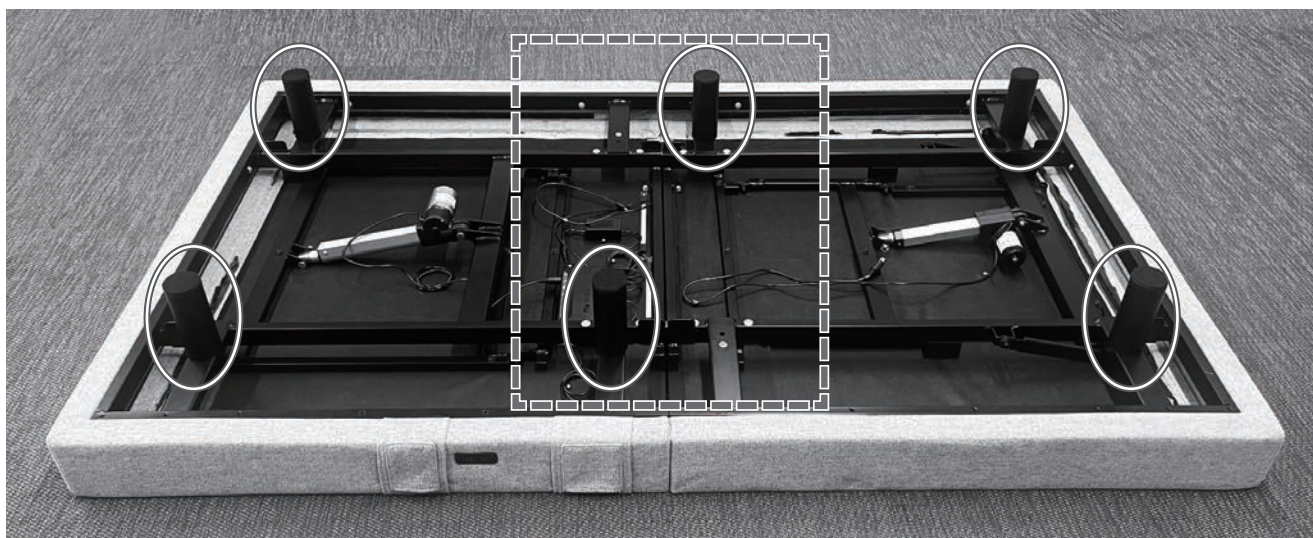
脚側本体 (②) を取り出し、裏返した状態で頭側本体 (①) に取り付けられた連結バー (⑥) に差し込むような形で取り付けてください。(左右各1ヶ所)

その際、頭側本体 (①) と脚側本体 (②) のフレームはぴったりとつけてください。

穴位置を合わせ、ボルト (⑦) は締め込みすぎず7〜8割くらいの仮締めにしてください。(左右各4個 計8個)

すべてのボルトを仮締めの状態にし終わったら六角レンチ (⑧) を使ってしっかりと締め付けてください。(頭側・脚側合計8個)

3



ベッドフレームに脚 (⑤) を取り付けます。(6ヶ所)
点線内で示したベッド中央の脚については、対角になるように取付けてください。
設置する床面の状態に応じ、脚の底面へ付属の保護フェルトを貼り付けてください。

※本保護フェルトは使用することで床材の保護を保証するものではありません。
本保護フェルトを使用により生じた床材の変色やキズ、剥がれについては、保証いたしかねます。

組み立て上の警告事項

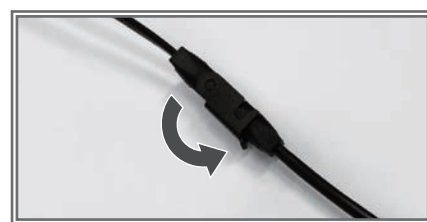
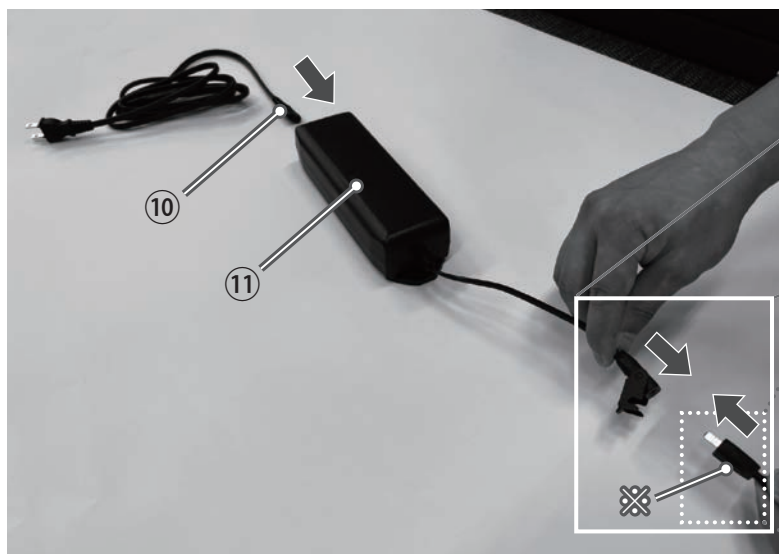


警告

1. 脚は必ず取り付けてください。

取付けずに床面へ直置きした場合、ベッド本体で電源コードや音声コントローラーのコードを圧迫するため、破損、感電、火災のおそれがあります。

4



ロックします。

コントロールボックス



「POWER」と記載

電源アダプター (⑪) と電源コード (⑩) を接続します。

※同梱されている9V電池は、非常用です。通常使用の際は電池を使用しないでください。詳しくは45ページをご参照ください。

※で示したコネクタのケーブルはあらかじめ上図の場所に接続されています。

5



脚側のモーターのケーブル

頭側の本体に設置されているコントロールボックスに、「脚側のモーターケーブル」を接続します。
脚側のモーターケーブルはケーブルが上向きの状態で接続します。

オプション機器 音声コントローラーの取付け

音声コントローラーをご購入されたお客様は以下の内容に沿って取付けをおこなってください。

6



音声コントローラーのケーブル



音声コントローラー

頭側の本体に設置されているコントロールボックスに、「音声コントローラーのケーブル」を接続します。
音声コントローラーのケーブルは固定用のツメが上向きの状態で接続します。

7



組み立てたベッド本体をひっくり返して、脚側の本体にマットレス留め (③、④) を取り付けてください。取り付けの際は、奥までしっかりと差し込んでください。

ベッド本体をひっくり返す時は、電源アダプターや音声コントローラーを落としたり、ベッドの脚で踏みつけてしまったりすると故障するおそれがありますので、取り扱いに注意してください

8

リモコンに同梱されている電池 (単4、3本) を入れてください。

9

電源プラグをコンセントに差し込んでください。音声コントローラー (オプション商品) ご購入の場合「こんにちはアイディです。ハローアイディと呼んでください。」と音声が出て、同時にフロアライトが点灯します。以上で組み立てが完了となり、ご使用できるようになります。

オプション機器 ヘッドボードの取付け

組合せの警告事項

**警告**

ヘッドボードは、必ず弊社が指定する適合品をご使用ください。

ヘッドボードをご購入されたお客様は以下の内容に沿って取付けをおこなってください。

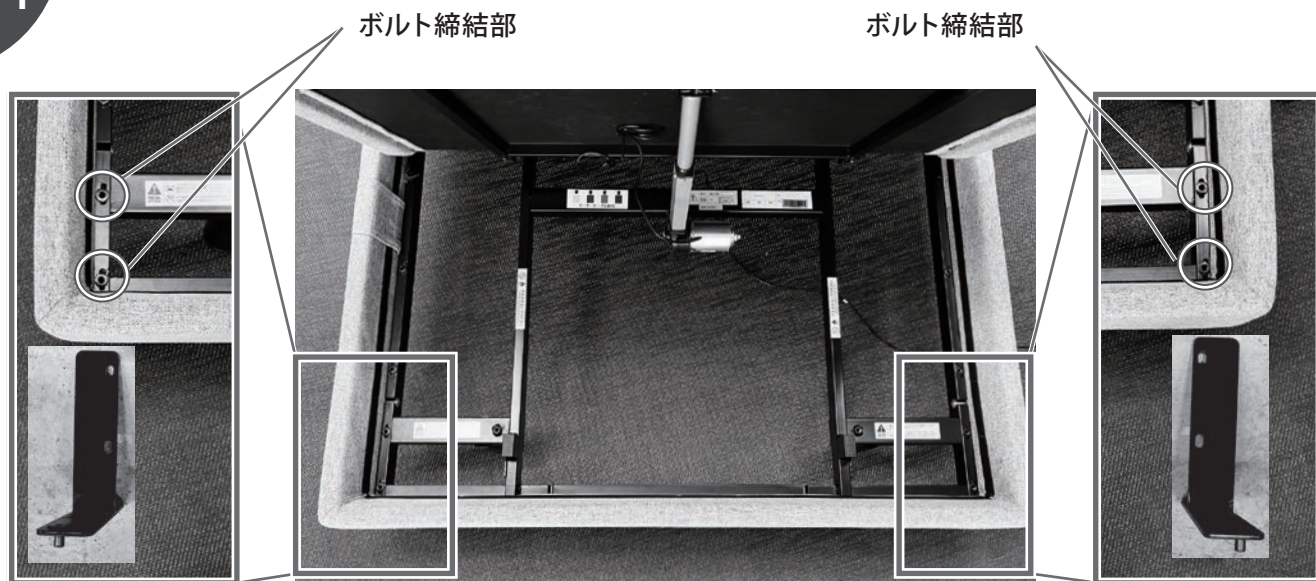
組み立て上の注意事項

**注意**

1. ヘッドボードの固定にはヘッドボード取付け金具に同梱されているボルトを必ず使用してください
ヘッドボード本体に付属されているボルトは使用しないでください
2. ヘッドボードの取り付け後にボルトが緩んでいないか必ず確認してください

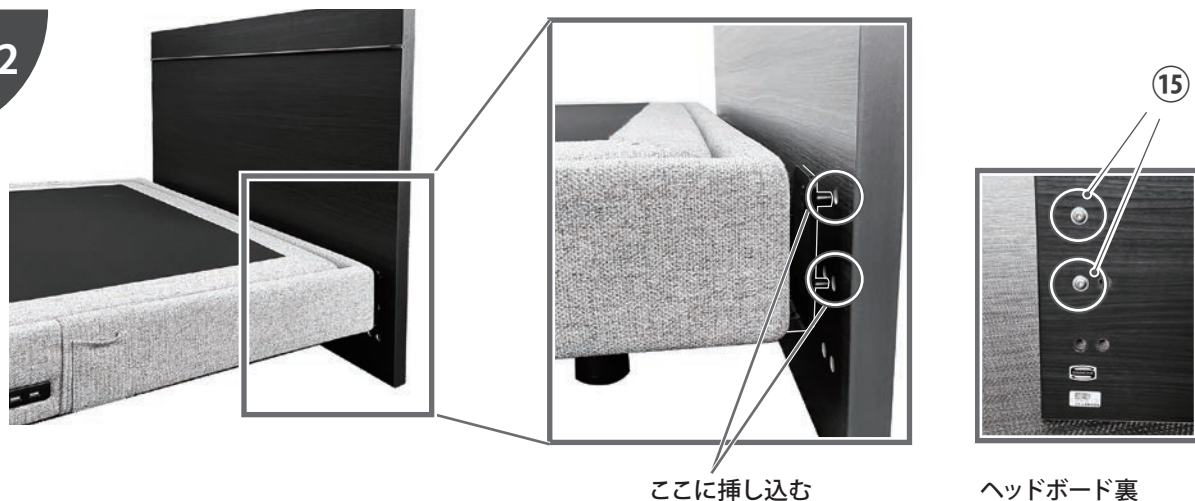
10-1

ヘッドボード取付け (オプション商品ご購入の場合)



ベッドフレームに2Mヘッドボード取付け金具(14)を取り付けます。
ヘッドボード取付け金具には左右指定がありますので、上図を参照して取付けて下さい。(取付け穴が内側)
ボルトはM8x25 (短い方) を使用して、床側からボルト(15)を挿し込み固定します。
ボルトは締め込み過ぎず7~8割くらいの仮締めにしてください。

10-2



ベッドフレームに2Mヘッドボード取付け金具を仮固定したらヘッドボードを取付けます。
上図に示したヘッドボードの取付け穴部に2Mヘッドボード取付け金具の突起部を挿し込んで設置してください。
設置しましたら、ヘッドボードの裏面よりボルト (M8x35) を締め付けてください。
ヘッドボードの固定が終わりましたら、仮締めしていたベッドフレームの固定ボルトを
しっかりと締め付けてください。最後にヘッドボードのグラつきやボルトのゆるみがないか確認してください。

11

ベッド本体にマットレスを設置します。前後左右のバランスをみながら設置してください。

組合せの警告事項

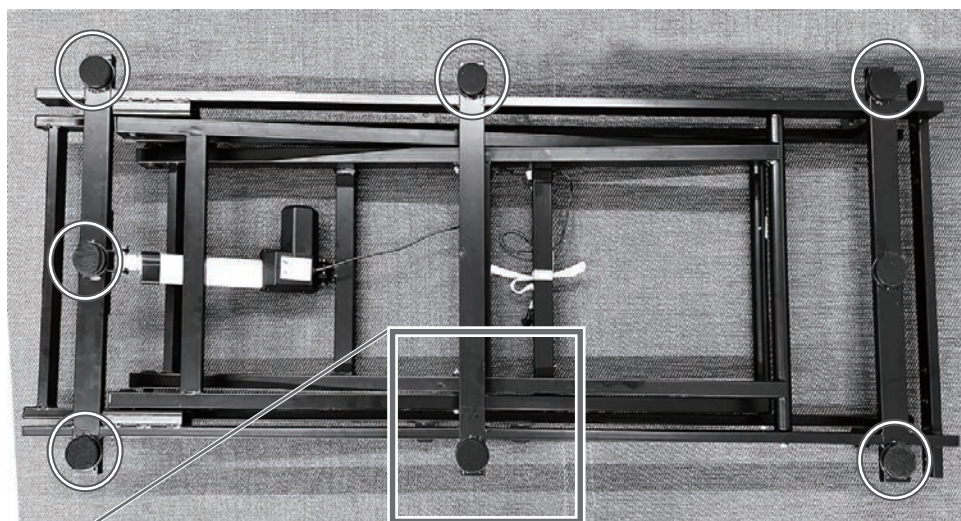
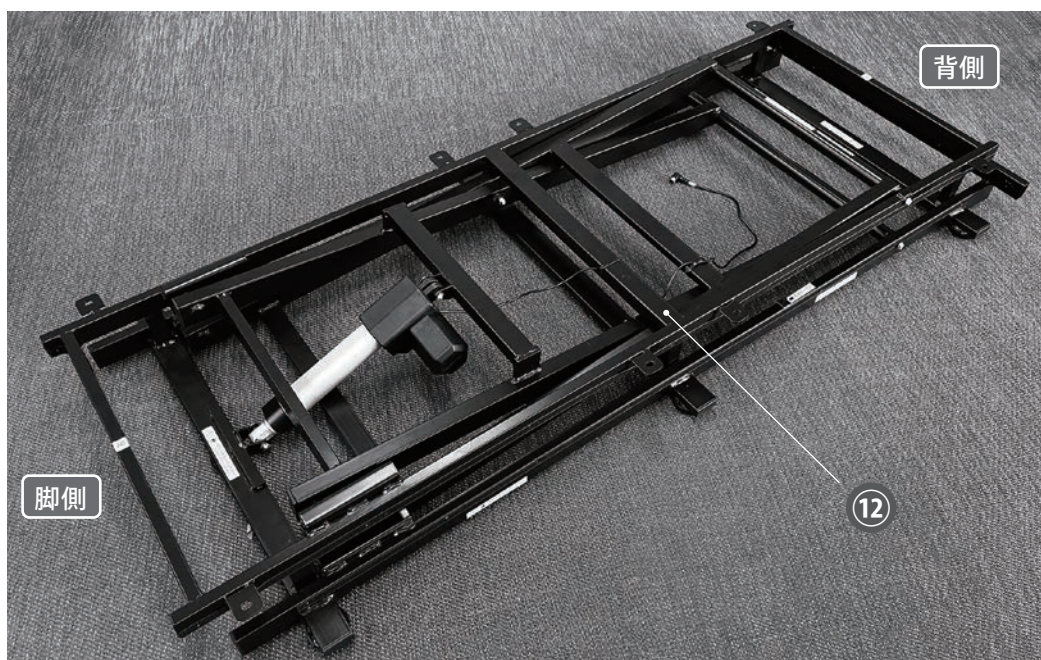


警告

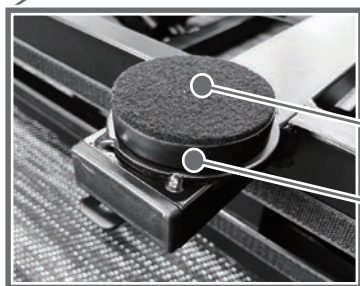
マットレスは、必ず弊社が指定する適合品をご使用ください。

1

3M、4Mの組み立て



※写真は3M用昇降ベース

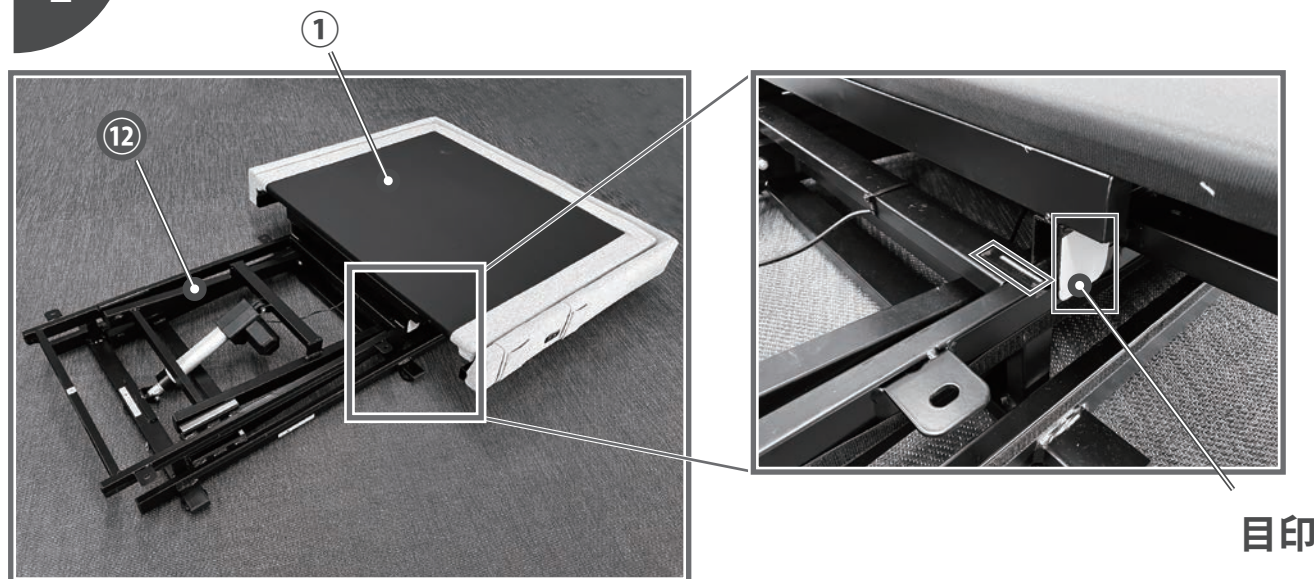


フェルト

脚

昇降ベース (12) を取り出し、設置します。ベースには背側と脚側の指定がありますので方向に注意してください。
 昇降ベース本体の表示を確認してください。設置する床面の状態に応じ、脚の底面へ付属の保護フェルトを貼り付けてください。
 昇降ベースの設置が完了したら、フレームを締結している白色の結束バンドを切ってください。
 万が一切り忘れた状態で動作をしてしまった場合、大きな音が鳴ります。
 結束バンドが引っ張られることで生じる音です。ベッドが故障した音ではありません。
 大きな音が鳴った場合は直ちに使用をやめ、結束バンドを切ってから再度で使用ください。
 ※本保護フェルトは使用することで床材の保護を保証するものではありません。
 本保護フェルトを使用により生じた床材の変色やキズ、剥がれについては、保証いたしかねます。

2



昇降ベース (12) に本体 (頭側) (1) を設置します。
設置位置合わせ用の目印を設けているので、目印の位置にあわせて設置してください。

組み立て上の注意事項



注意

モーターケーブルや電源ケーブルをベッドフレームに挟み込まないように注意してください。
ケーブルが破損し、感電・火災のおそれがあります。

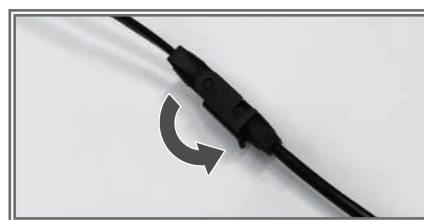
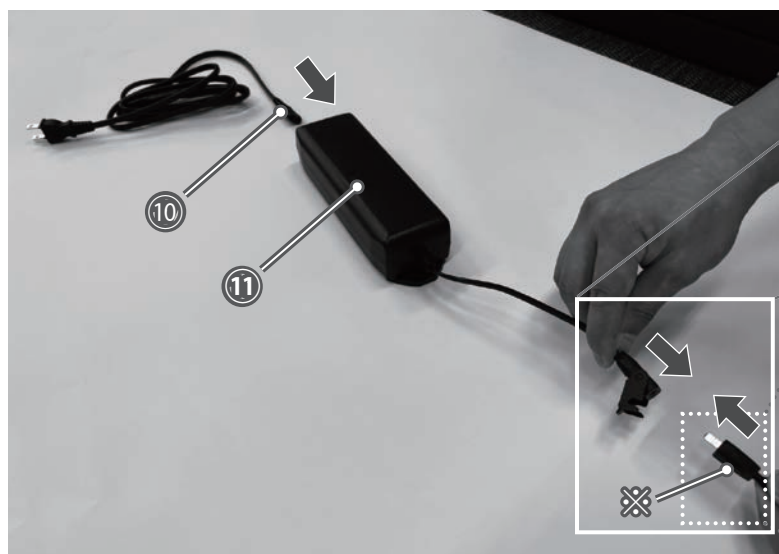
3

白テープ



本体 (頭側) (1) に接続されている電源ケーブルを昇降ベース (12) に固定します。
電源ケーブルの固定は昇降ベースに設置したケーブルクランプ部に電源ケーブルに
貼られている白テープの位置を合わせて固定します。

4



ロックします。

コントロールボックス



「POWER」と記載

電源アダプター (11) と電源コード (10) を接続します。

※同梱されている9V電池は、非常用です。通常使用の際は電池を使用しないでください。詳しくは45ページをご参照ください。

※で示したコネクタのケーブルはあらかじめ上図の場所に接続されています。

5

昇降ベースに同梱されている3Mまたは4M専用リモコンに電池 (単4、3本) を入れ、以下の手順に沿ってリモコンのペアリングを行ってください。

- ①電源プラグをコンセントに差し込んでください
- ②ベッド本体のLEDが点滅したらリモコンの「PAIR」ボタンを長押ししてください。
- ③長押しを続けるとベッド本体のフロアライトの「点滅」が「点灯」に変わり、消灯します。
これでペアリングが完了となります。リモコンのボタンを押して動作することを確認してください。動作しない場合は、①からやりなおしてください。

※納品時は本体 (頭側) に同梱されている2M専用リモコンとペアリングされています。
3Mまたは4Mを操作する場合、それぞれ専用のリモコンとペアリングをして使用する必要がありますのでご注意ください。

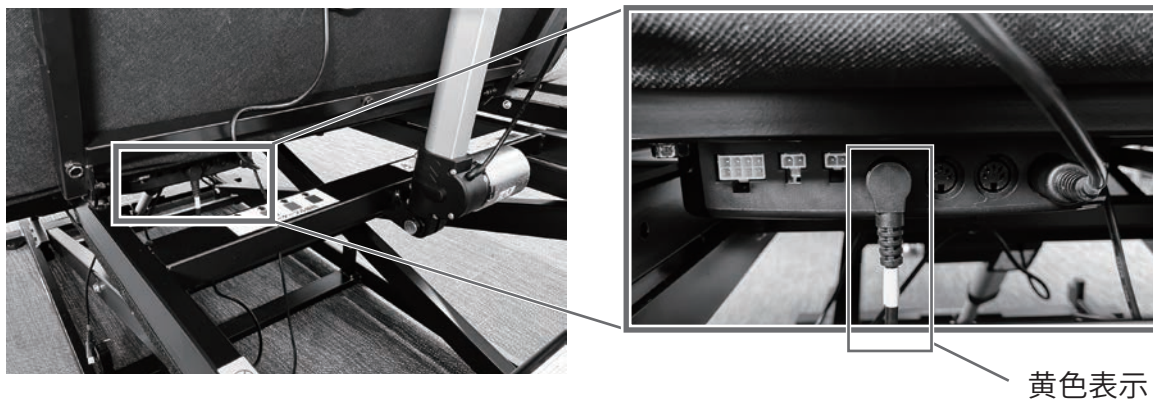


このボタンを長押し

6

リモコンがペアリングされていることが確認できましたら、本体 (頭側) の背部を最大角度まで上げてください。

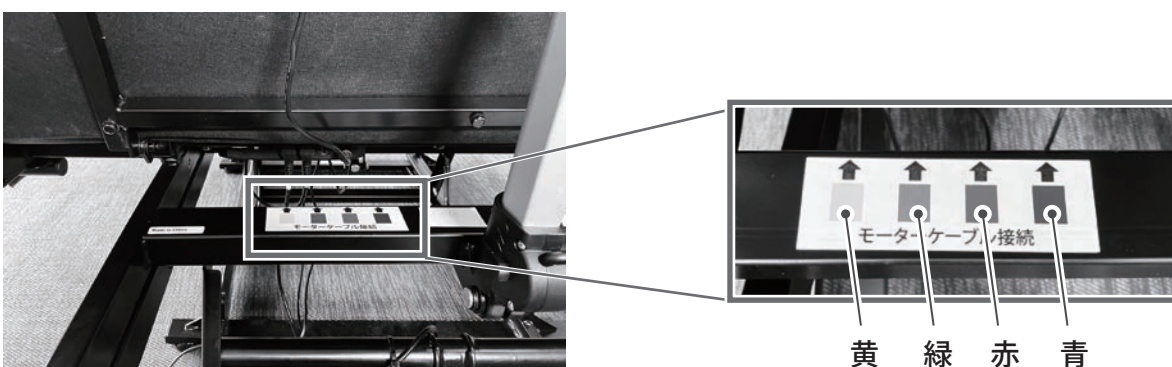
[3Mの接続箇所]



[4Mの接続箇所]



[接続指定箇所の表示]



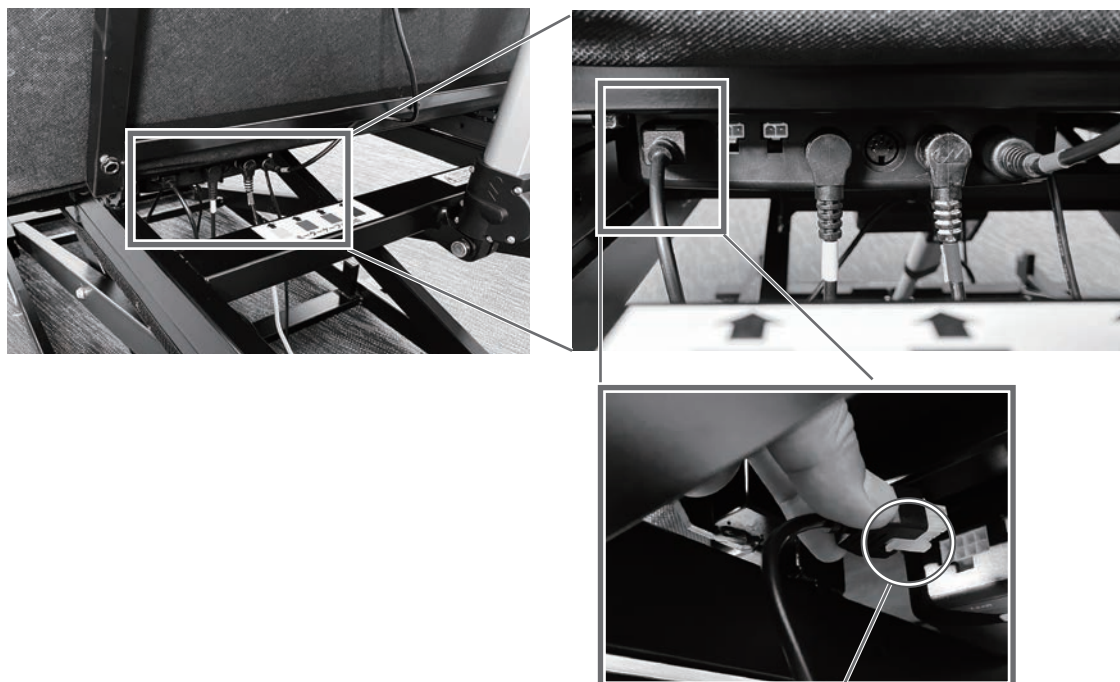
本体（頭側）①に設置されているコントロールボックスに、昇降ベース⑫のモーターのケーブルを接続します。3Mは黄色表示のケーブルを1本、4Mは黄色表示のケーブルを1本と緑表示のケーブルを1本、それぞれコントロールボックスの指定された箇所に接続します。コントロールボックスの指定箇所はフレームに表示されていますので確認してから接続してください。コントロールボックスへ接続する際、ケーブルが下向きになるように接続してください

オプション機器 音声コントローラーの取付け

音声コントローラーをご購入されたお客様は以下の内容に沿って取付けをおこなってください。

8-1

※写真は3Mです。4Mも同じ個所に接続します。

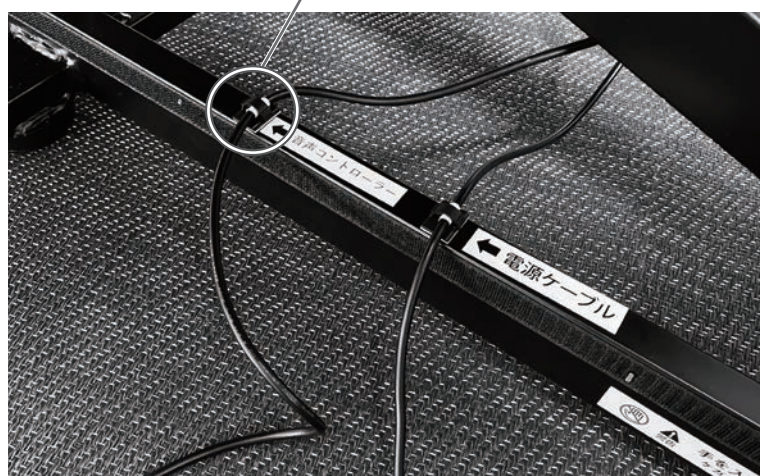


固定用のツメが下向きで接続

本体(頭側) (①)に設置されているコントロールボックスに、音声コントローラー (②) のケーブルを「固定用のツメが下向き」の状態に接続します。

8-2

ケーブルクランプ



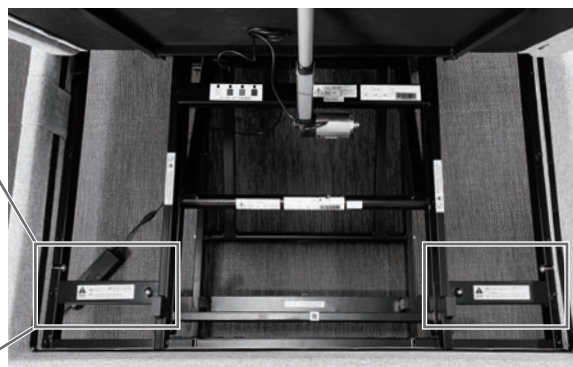
音声コントローラー (②) のケーブルを昇降ベース (⑫) に固定します。

昇降ベース (⑫) に設置したケーブルクランプ部にケーブルに貼られている白テープの位置を合わせて固定します。

9



裏面



本体に（頭側）(①)と昇降ベース(⑫)を床側からボルト(⑦)で締結します。

取り付ける際、ボルト(⑦)は締め込みすぎず7～8割くらいの仮締めにしてください。（左右 計2個）

10

このボタンを押してください



リモコンを操作して、ベッドフレーム全体の高さを最大まで上げてください。

11



① 昇降用のフレームの奥側からケーブルが通っていますか？

② 昇降用のフレームの下側からケーブルが通っていますか？

3Mの場合、ベッドフレーム全体の高さを最大にした状態で電源ケーブルと音声コントローラーケーブルの取り回しが写真の状態となっていることを確認してください。写真以外の場合は、必ず写真の状態に直してください。

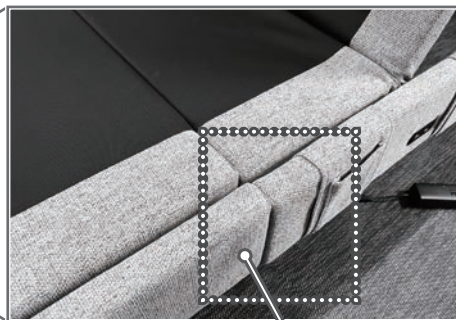
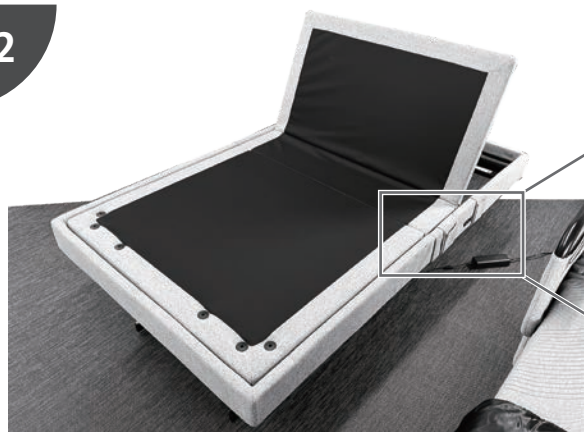
組み立て上の注意事項



注意

電源ケーブルの取り回しを必ず確認してください。
指定以外の状態の場合、ケーブルが破損し、感電・火災のおそれがあります。

12



昇降ベース(⑫)に本体(脚側)(②)を設置します。
既に設置している本体(頭側)(①)の位置に合わせて設置してください。

ピッタリ位置を合わせる

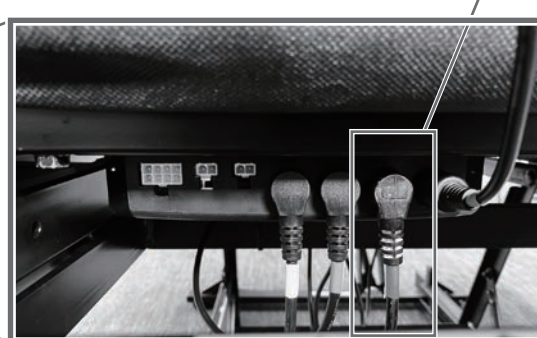
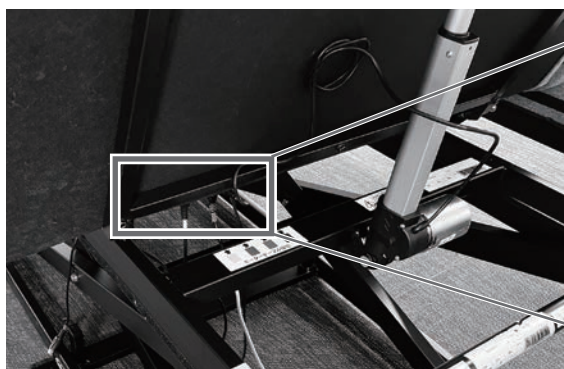
13

[3Mの接続箇所]



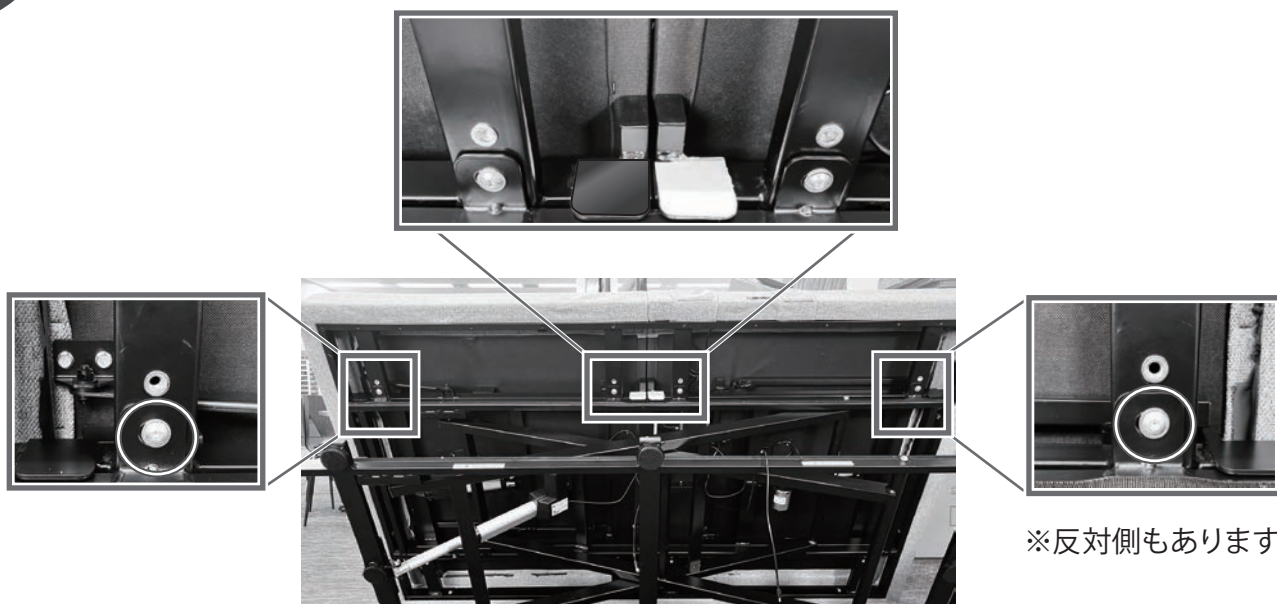
赤色表示

[4Mの接続箇所]



本体(頭側)(①)に設置されているコントロールボックスに、本体(脚側)(②)のモーターのケーブルを接続します。
コントロールボックスの指定箇所はフレームに表示されているので確認してから接続してください。
本体(脚側)のモーターのケーブルは「ケーブルが下向き」の状態で接続します。

14



本体（頭側）と本体（脚側）を昇降ベースの床側からボルト(⑦)で締結します。
 取り付ける際、ボルト(⑦)は締め込みすぎず7～8割くらいの仮締めにし、
 すべてのボルトを仮締めの状態にし終わたら六角レンチ (⑧) を使ってしっかりと締め付けてください。
 (頭側・脚側 左右合計8個)

15



本体（脚側）にマットレス留め (③、④) を取付けてください。取付ける際は、奥までしっかりと差し込んでください。

オプション機器 ヘッドボードの取付け

組合せの警告事項



警告

ヘッドボードは、必ず弊社が指定する適合品をご使用ください。

ヘッドボードをご購入されたお客様は以下の内容に沿って取付けをおこなってください。

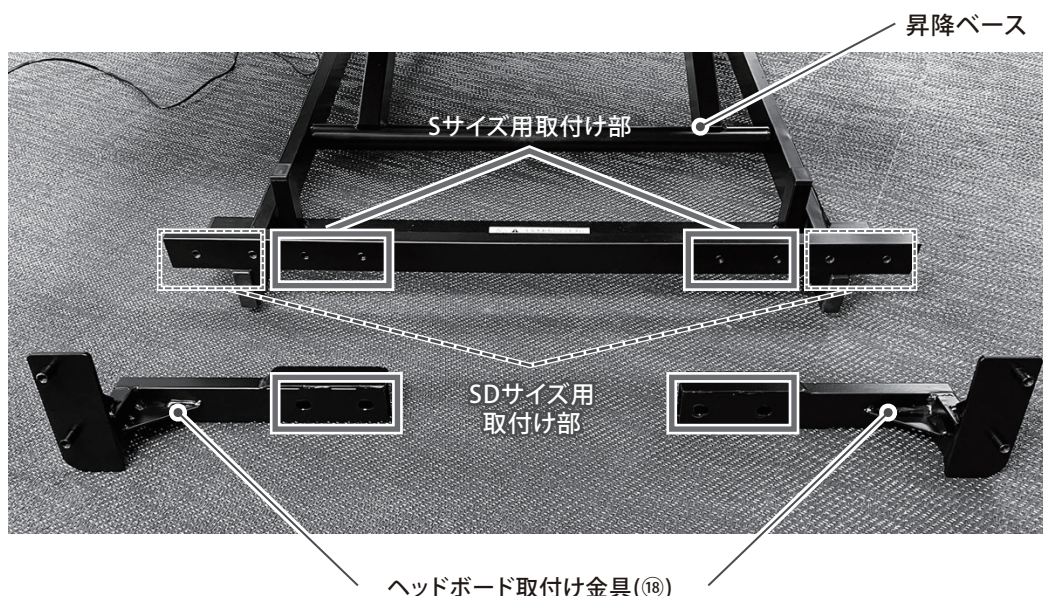
組み立て上の注意事項



注意

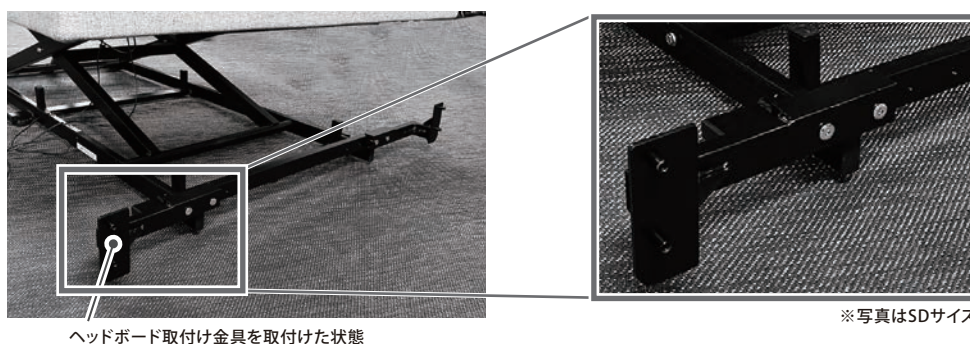
1. ヘッドボードの固定にはヘッドボード取付け金具に同梱されているボルトを必ず使用してください
ヘッドボード本体に付属されているボルトは使用しないでください
2. ヘッドボードの取り付け後にボルトが緩んでいないか必ず確認してください

16-1



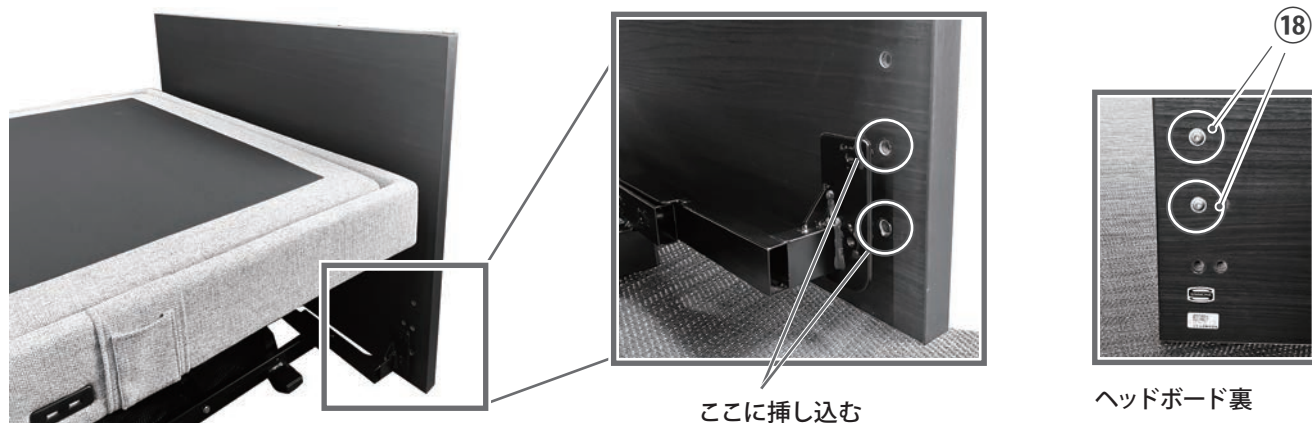
昇降ベースにヘッドボード取付け金具 (18) を取り付けます。
ヘッドボード取付け金具(18)には左右指定がありますので、上図を参照して取付けて下さい。

16-1



ヘッドボード取付け金具側(18)からボルト(19)を挿し込み固定します。
ボルト(19)は締め込み過ぎず7～8割くらいの仮締めにしてください。

16-3



昇降ベース(12)にヘッドボード取付け金具(18)を仮固定したらヘッドボードを取付けます。
 上図に示したヘッドボードの取付け穴部にヘッドボード取付け金具の突起部を挿し込んで設置してください。
 設置しましたら、ヘッドボードの裏面よりボルト(19)を締め付けてください。
 ヘッドボードの固定が終わりましたら、仮締めしていたベッドフレームの固定ボルトをしっかりと締め付けてください。最後にヘッドボードのグラつきやボルトのゆるみがないか確認してください。

17

ベッド本体にマットレスを設置します。前後左右のバランスを見ながら設置してください。

組合せの警告事項



警告

マットレスは、必ず弊社が指定する適合品をご使用ください。

オプション機器 ハンドレールの取付け

ハンドレールをご購入されたお客様は以下の内容に沿って取付けをおこなってください。

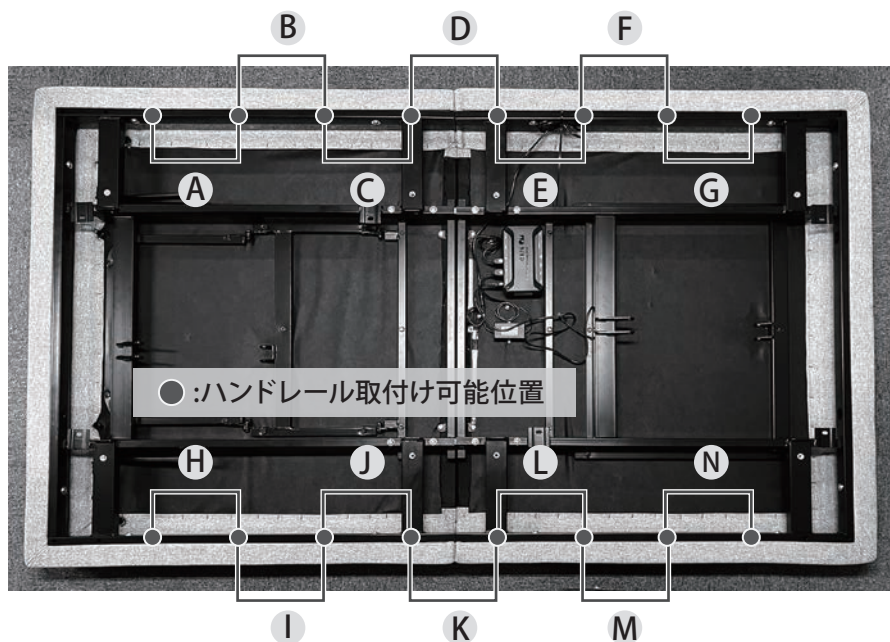
組合せの警告事項



警告

ハンドレールは、必ず弊社が指定する適合品をご使用ください。

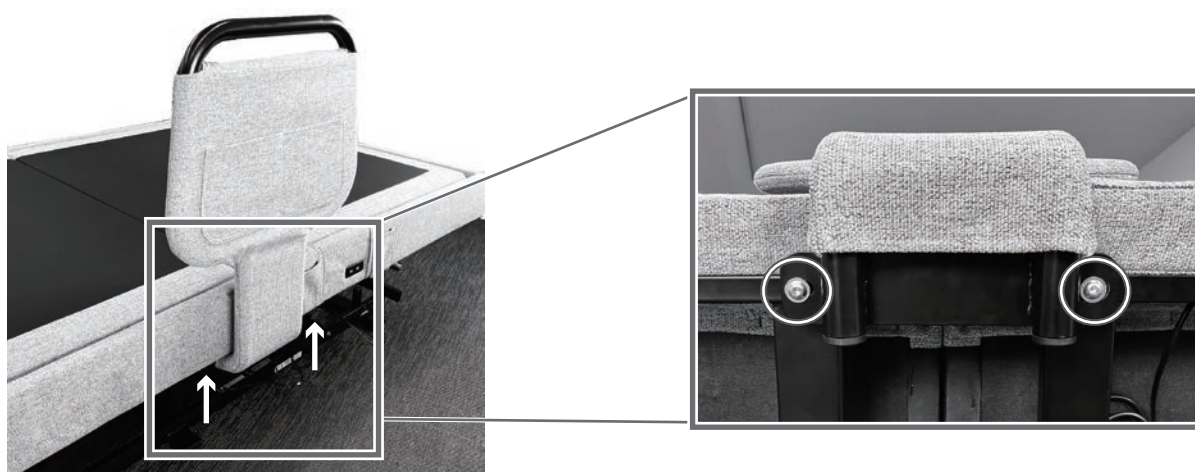
1



上図に示すハンドレール(②)の取付け位置を確認いただき、取り付ける位置を決めてください。
取付け位置は上記A～Nまでの計14ヶ所(左右各7ヶ所)あります。

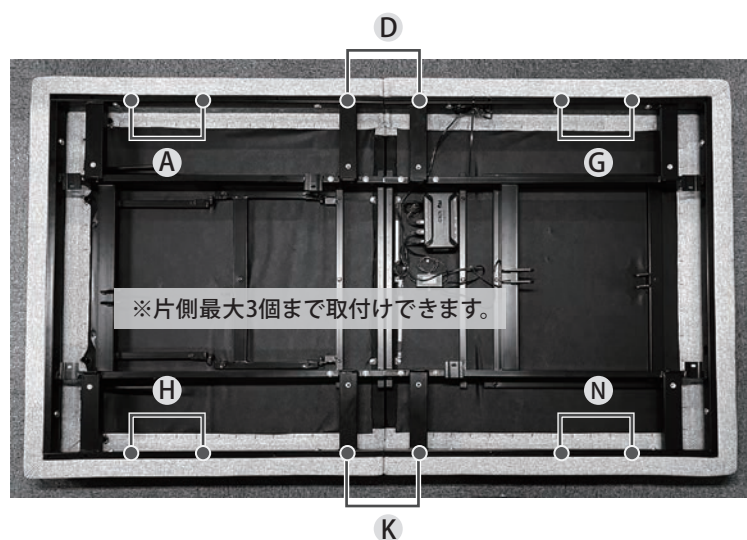
※取付け位置によっては、ポケットやUSBポートが使用できなくなります

2

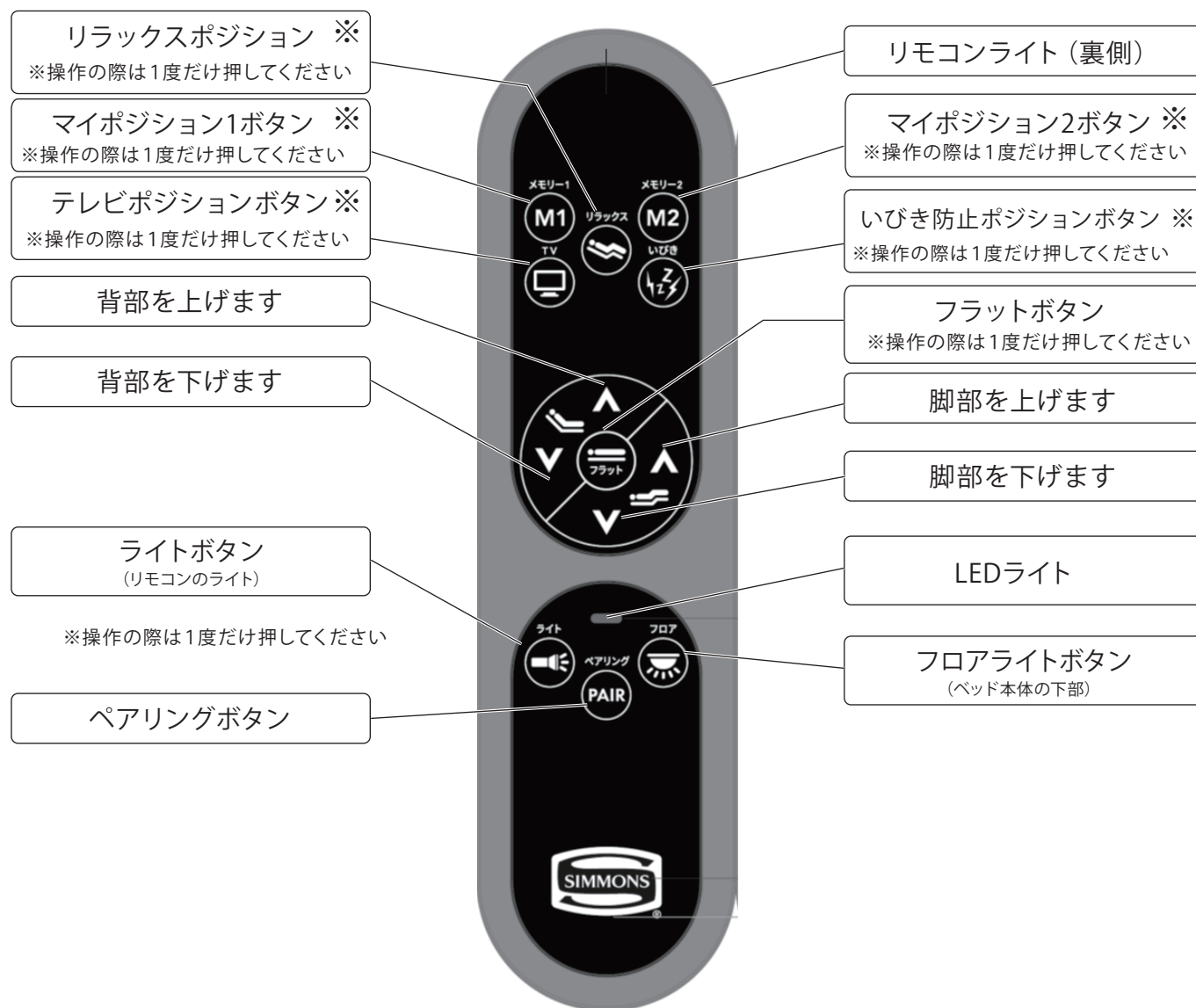


穴位置を合わせ、ボルト(③)は締め込みすぎず7～8割くらいの仮締めにしてください。(2個)
すべてのボルトを仮締めの状態にし終わったら六角レンチ(④)を使ってしっかりと締め付けてください。

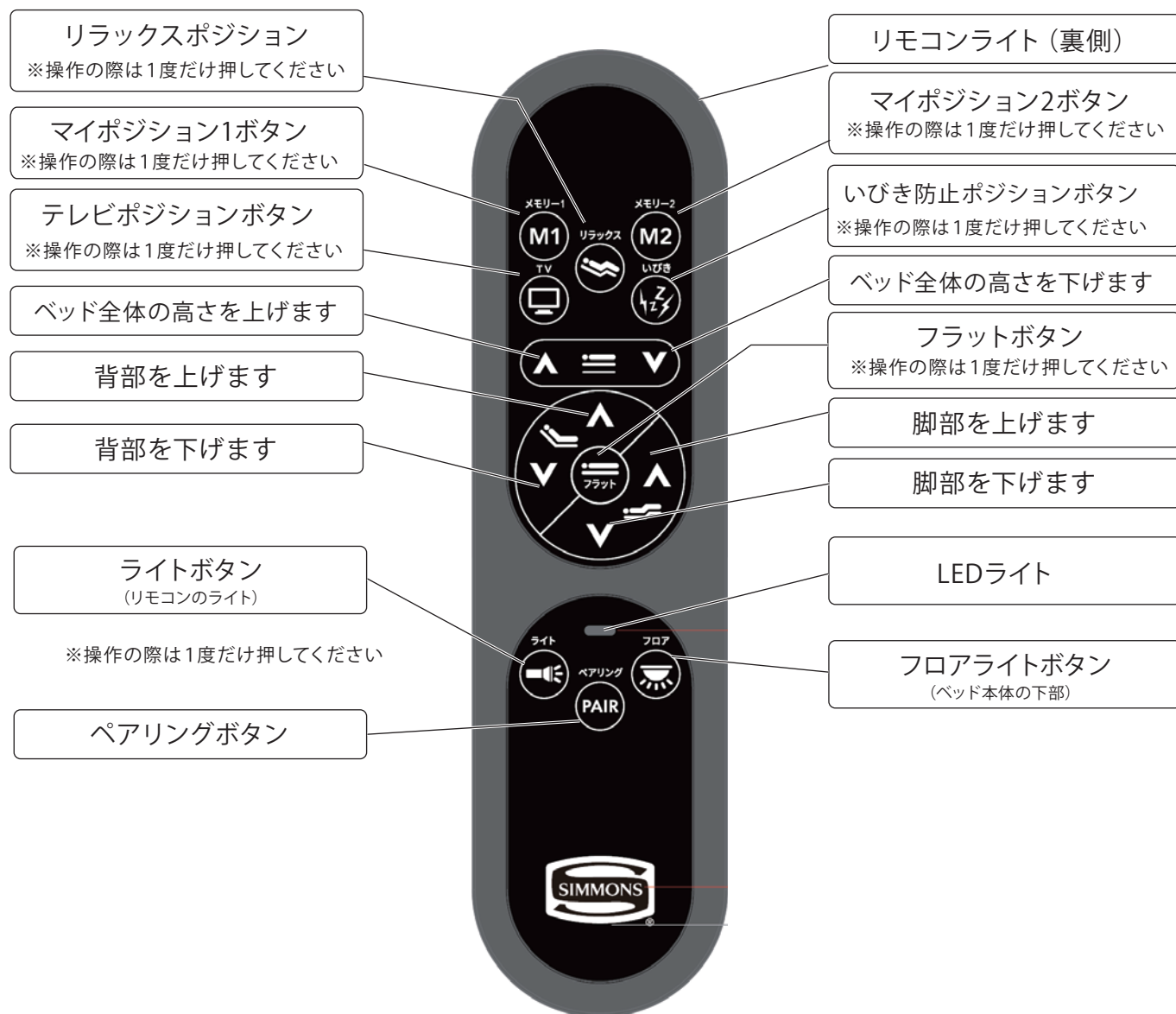
【参考】



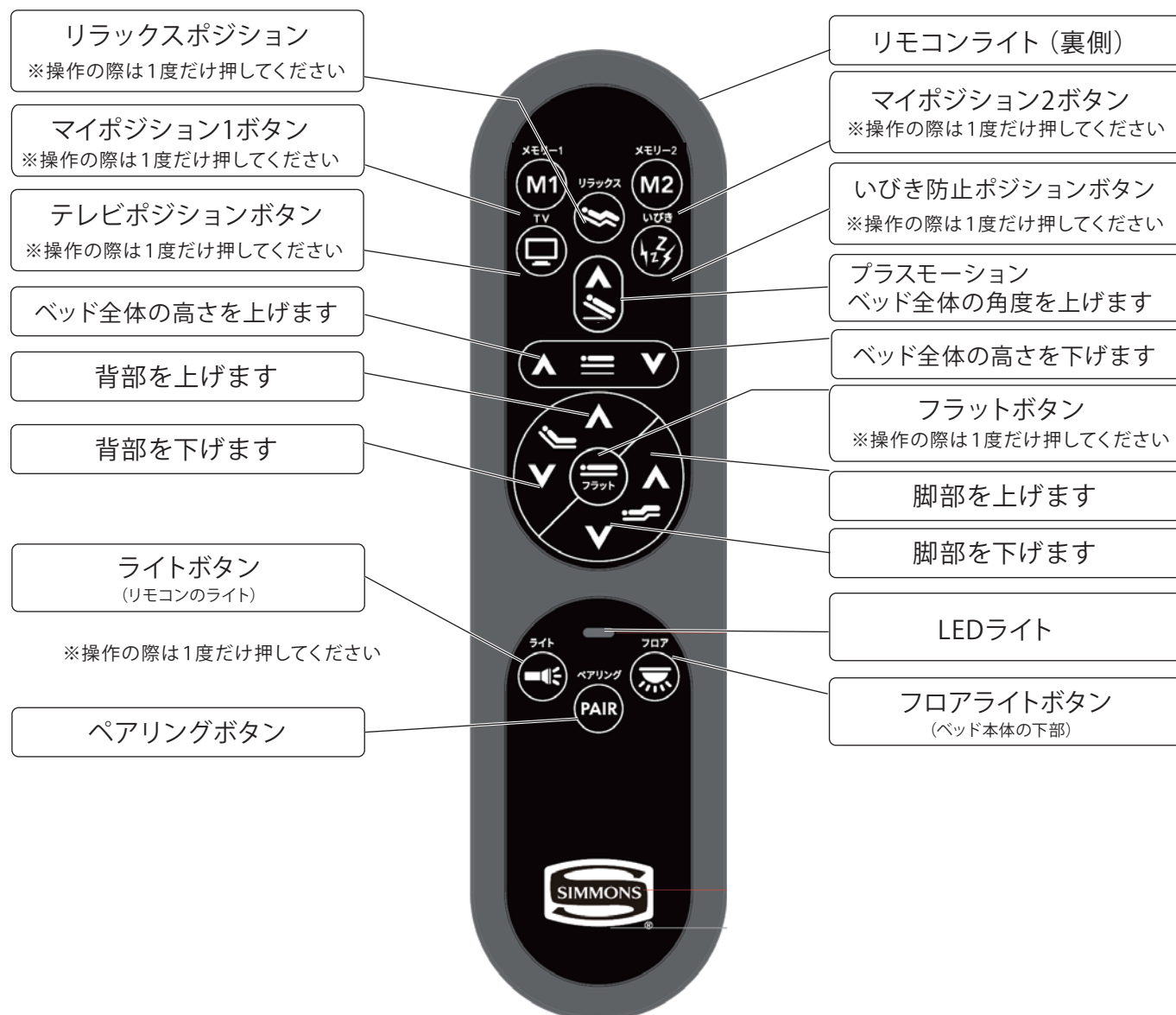
上図に示す「A」「D」「G」「H」「K」「N」の取付け部を使用することで、最大で6個（左右各3個）のハンドレールの取付けが可能です。



※ご使用中に各ポジションが登録されている角度にならない場合は、
全体をフラットにしてから再度、操作してください。



※ご使用中に各ポジションが登録されている角度にならない場合は、全体をフラットにしてから再度、操作してください。



※ご使用中に各ポジションが登録されている角度にならない場合は、全体をフラットにしてから再度、操作してください。

※プラスモーションを使用してベッド全体の角度を上げた状態からベッド全体の角度を下げる時は、ベッド全体の高さを下げるボタンを押してベッド全体の角度を下げてください。

－2M・3M・4M共通－

リラックスポジションについて

無重力に近いポジションを体感できるポジションです

膝を心臓より少し高く持ち上げることにより、身体にとって楽な姿勢となり、より快適に過ごしやすいポジションです。

いびき防止ポジションについて

呼吸が楽になるポジションです

頭を少し上げることで、気道がふさがれることを抑え、呼吸が楽になるポジションです。
ご使用される方の体型、体格、体調によっては効果が表れない可能性があります。その際は角度を調整してください

マイポジションの設定方法

マイポジションについて

生活スタイルに合わせて、利用される方が好みに合わせて調整した背部・脚部・ベッド全体の角度を登録することが出来る機能です。

- 1 リモコンで操作して、背部と脚部、ベッド全体をお好みの角度に設定します。※
- 2 マイポジションボタン(M)を5秒間長押しします。
- 3 LEDランプが点滅したら、設定完了です。

※出荷時は以下の角度に設定されています。

■ 背部：約45° ■ 脚部：約15° ■ ベッド全体：0°

リモコンのペアリングについて

リモコンは出荷段階で2M用のリモコンとペアリングされています。

3Mまたは4Mを購入されたお客様や、故障によりリモコンを交換した場合などは、以下の操作によりペアリングしてください。

- 1 電源プラグをコンセントに差し込んでください（既に差し込んでいる場合は一度抜いてから差し込んでください）
- 2 ベッド本体のLEDが点滅したらリモコンの「PAIR」ボタンを長押ししてください。
- 3 長押しを続けるとベッド本体のフロアライトの「点滅」が「点灯」に変わり、消灯します。
これでペアリングが完了となります。リモコンのボタンを押して動作することを確認してください。動作しない場合は、①からやりなおしてください。

※納品時は本体（頭側）に同梱されている2M専用リモコンとペアリングされています。
3Mまたは4Mを操作する場合、それぞれ専用のリモコンとペアリングをして使用する必要がありますのでご注意ください。



このボタンを長押し

－4M専用－

プラスモーションについて

ベッド全体の角度を変えることができます

ベッド全体の角度を上げる際、身体のスレを押さえるために、脚部が一定の角度まで上がってからベッド全体の角度が上がります。

ベッド全体の角度を下げる時は、ベッド全体の高さを下げるボタンを押して下げてください。

プラスモーションにて最大13°まで角度を上げることができます。最大角度まで上げる場合、ベッド全体の高さが一番低い状態から上げてください。ベッド全体の高さを少しでも上げている場合、最大角度まで上げることはできません。

[9] 音声コントローラーの操作方法

SIMMONS

音声コントローラーをご購入されたお客様は以下の内容を参照いただき操作してください。

※ご購入されていないお客様は音声コントローラーによる操作は出来ません。ご注意ください。

- 「ハローアイディ」もしくは「ハローモーション」と言うと音声コントローラーが起動します。
続けて音声指令を行ってください。
- 起動命令は初期設定では「ハローアイディ」になっており、「ハローモーション」への変更が可能です。
起動命令の変更方法は、40ページの表をご参照ください。
- 音声指令に応じて返事と動作をします。
- 起動命令後30秒間指示がないと、音声コントローラーは「休憩します」とアナウンスを行い待機状態になります。
再起動の場合、「ハローアイディ」もしくは「ハローモーション」の起動命令が必要です。
- 音声コントローラーの音量は、「大」「中」「小」の3段階です。お好みに合わせて音量を設定してください。

音声コントローラーの操作については、40ページの表をご参照ください。

音声コントローラーの設置について

- 音声コントローラーは、テーブルなどの家具に載せてご使用ください。床への直置きでの使用は、踏みつけてしまうおそれがあります。破損の原因となるので、十分注意してご使用ください。
- 踏みつけによる破損からケガをするおそれがあります。
- ご使用されるお部屋の環境に合わせ、音声の認識する範囲に設置してください。
- ご使用されるお部屋の環境によっては、音声の認識機能が正しく動作しない場合があります。

ベッドを2台使用する際の注意事項

弊社製の音声認識機能付きの電動ベッドを2台ご使用になるお客様は、

どちらかのベッドを組み立て設置後に、起動命令を「ハローモーション」に変更してください。

※出荷時は「ハローアイディ」に設定されています。

- そのままの状態でご使用された場合、「ハローアイディ」の起動命令で2台とも動作してしまいますのでご注意ください。利用者の意図しないタイミングで動作するとケガをするおそれがあります。
- 起動命令の切り替え方法は、40ページの表をご参照ください。
- 起動命令を分けてご使用していただいた場合でも、2台同時に起動命令をして音声指令により動作指示をした場合は、2台同時に動作するのでご注意ください。
- 2台同時動作を防ぐには、どちらかのベッドが待機状態であることを確認してから起動命令してください。

音声コントローラーその他機能

- 音声コントローラーにはワイヤレス充電器がついています。ワイヤレス充電は、スマートフォンと充電器を接続するケーブルは必要なく、上に置くだけで充電できます。



- ベッドが動作中に音声コントローラーを押すと動作がストップします。
5秒程度長押しすると、ベッドポジションがフラットに戻ります。



本機能はワイヤレス充電に対応したスマートフォンのみご利用いただけます。

ご使用されているスマートフォンがワイヤレス充電に対応しているかご確認ください。本機器は、急速充電には対応しておりません。
ワイヤレス充電機能を利用する前に、必ず「ワイヤレス充電機能についての警告事項」(13ページ)をお読みください。

[9] 音声コントローラーの操作方法

SIMMONS

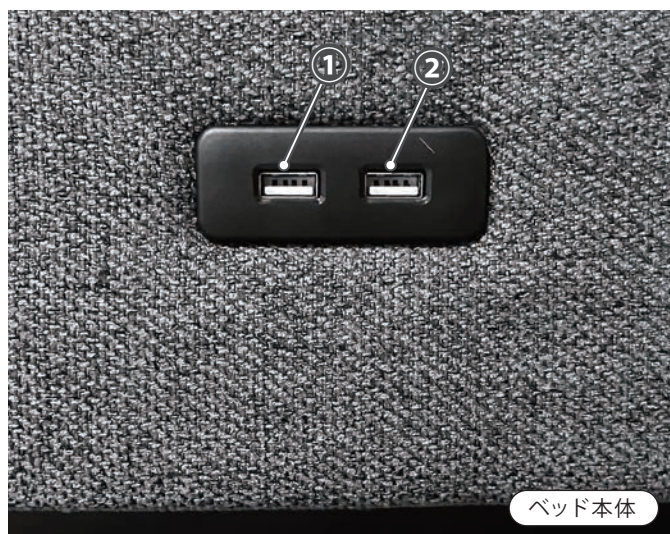
	音声指令	返事	動き
1	ハロー アイディ	こんにちは	なし (起動命令)
2	ハローモーション	こんにちは	なし (起動命令)
3	背中を上げて	背中を上げます	背が上がります
4	背中を下げて	背中を下げます	背が下がります
5	脚を上げて	脚を上げます	脚が上がります
6	脚を下げて	脚を下げます	脚が下がります
7	止めて	止めます	止まります
8	フラットにして	フラットにします	水平になります
9	角度を上げて	角度を上げます	ベッド全体の角度が上がります
10	高さを上げて	高さを上げます	ベッド全体の高さが上がります
11	高さを下げて	高さを下げます	ベッド全体の高さが下がります
12	テレビポジション	テレビポジション	設定されたポジション(固定)に変わります
13	リラクスポジション	リラクスポジション	設定されたポジション(固定)に変わります
14	いびき防止ポジション	いびき防止ポジション	設定されたポジション(固定)に変わります
15	マイポジション1 (イチ)	マイポジション1 (イチ)	設定されたポジション(任意)に変わります
16	マイポジション2 (ニ)	マイポジション2 (ニ)	設定されたポジション(任意)に変わります
17	ベッド名を ハローアイディにして	ハローアイディにします	なし (起動命令がハローアイディに変わります)
18	ベッド名を ハローモーションにして	ハローモーションにします	なし (起動命令がハローモーションに変わります)
19	音量を大にして	音量を大にします ----- 音量は大です (大設定の場合)	音量が大になります (音量が大に設定されている場合は変化なし)
20	音量を中にして	音量を中にします ----- 音量は中です (中設定の場合)	音量が中になります (音量が中に設定されている場合は変化なし)
21	音量を小にして	音量を小にします ----- 音量は小です (小設定の場合)	音量が小になります (音量が小に設定されている場合は変化なし)
22	ライトをつけて	ライトをつけます	フロアライトをつけます
23	ライトを消して	ライトを消します	フロアライトを消します
24	休憩してアイディ	休憩します	ハローアイディが起動状態の場合、 休憩に入ります
25	休憩してモーション	休憩します	ハローモーションが起動状態の場合、休憩に入ります

[10] USBポートについて

SIMMONS

■ ベッド本体と音声コントローラーにUSBポートが設置されています。

下記に示した各USBポートの仕様をご確認ください。スマートフォン、ゲーム機、タブレット端末等にご使用いただけます。



ベッド本体



音声コントローラー
(オプション商品)

	種類	電圧 / 電流
①	USB-TypeA	5V / 1A
②	USB-TypeA	5V / 1A
③	USB-TypeC	5V / 3A、9V / 2A、12V / 1.5A

注意 お使いのスマートフォン、タブレット端末やケーブルによっては充電できない可能性があります。

USBポートについての警告事項



警告

形状の違うUSBケーブルは絶対に接続しないでください

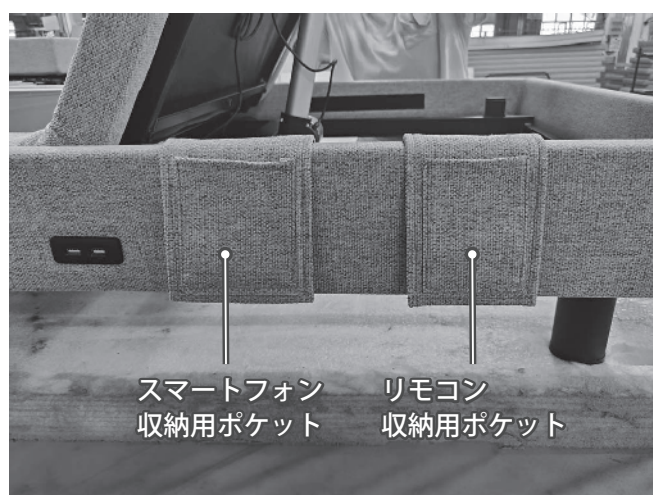
■ Type-AのUSBポートにType-CのUSBケーブルを接続するなど、USBの接続を間違えると、ショートして感電や火災のおそれがあります。USBケーブルを接続する際は必ず種類を確認してください。

[11] サイドフレームのポケットについて

SIMMONS

■ ベッドサイドフレームには、リモコン、スマートフォンが収納可能なポケットを設置しています。リモコンは、ベッド上に置いたままにしておくと、リモコンが身体で誤って圧迫されたり、無意識に触れるなどしてベッドが不意に動作するおそれがありますので、就寝時など使用しない時は、ポケットに入れて保管してください。また、ポケットは着脱が可能ですので、お好みに合わせて位置を変えてご使用いただけます。

【注意】お使いのスマートフォンのサイズや、カバー・ケースを付けた状態によっては収納できない可能性があります。



スマートフォン
収納用ポケット

リモコン
収納用ポケット

製品のお手入れ・掃除に関わる安全上注意事項

**注意****1. お掃除をする際に有機溶剤などの薬品は使用しないでください**

- ベッドが破損・変形するおそれがあります。
- ベッドが破損・変形した場合、ベッド利用者や周囲の方がケガをするおそれがあります。

お手入れの方法・ポイント

いつまでも気持ちよく、またベッドそのものも長くご使用いただくために、以下のようなお手入れや点検が必要になります。

(1) お掃除

マットレスはふとん類と違ってスプリングやウレタンなどの詰め物が入っていますので、ホコリは叩かずに電気掃除機で吸い取ってください。

また、ベッド本体はやわらかな布で軽くホコリを拭き取ってください。

表装部が汚れた場合は、軽く水を含ませた布で拭いてください。

汚れがひどい場合は薄めた中性洗剤を布に含ませて拭き、その後、軽く水を含ませた布で拭き取ってください。

(2) ベッドパッドなどの使用

マットレスは湿気に敏感です。マットレスの上には必ずベッドパッドやシーツを敷いてご使用ください。ベッドパッドやシーツは洗濯を行ってください。

(3) マットレスのローテーション

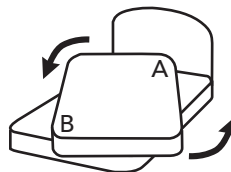
定期的（2～3ヶ月に1回）にマットレスの向きを変えてください。

（頭部と脚部のローテーション）

マットレス全体を平均的に使うことが長持ちさせる秘訣です。

※ローテーション出来ないタイプのマットレスもありますので、

ご購入いただいたマットレスに付属している取扱説明書・保証書の記載内容をご確認ください。

**(4) 通気、換気**

定期的に寝室の窓を開け放して、通気、換気を行ってください。

特に梅雨時期には、カビや悪臭が発生する原因となりますので、通気、換気を励行してください。

以下のような定期点検を2～3ヶ月に1回行ってください

定期点検項目

ボルト類の確認		
1	ボルトが緩んでいませんか？	☐ はい ☐ いいえ ➡ ボルトの増し締めをしてください。
2	ボルトが外れていませんか？	☐ はい ☐ いいえ ➡ ボルトを固定してください。 ボルト紛失の場合は、販売店またはお客様相談窓口（48ページ）へご連絡ください。

プラグやコード類の確認		
1	プラグやコード類に傷はありませんか？	☐ はい ☐ いいえ ➡ 販売店またはお客様相談窓口（48ページ）へご連絡ください。
2	プラグ類が抜けかけていませんか？	☐ はい ☐ いいえ ➡ 接続し直してください。
3	ホコリ等のゴミ類が付着していませんか？	☐ はい ☐ いいえ ➡ 定期的な清掃により取り除いてください。

ベッド・電装品の傷や変形		
1	ベッドフレームに変形や破損はありませんか？	☐ はい ☐ いいえ ➡ 販売店またはお客様相談窓口（48ページ）へご連絡ください。
2	リモコンや音声コントローラーに変形や破損はありませんか？	☐ はい ☐ いいえ ➡ 販売店またはお客様相談窓口（48ページ）へご連絡ください。
2	フロアライトのLEDは切れていませんか？	☐ はい ☐ いいえ ➡ 販売店またはお客様相談窓口（48ページ）へご連絡ください。

	状態	確認内容
1	リモコンを操作してもベッドが動かない	[1-1] 電池が正しい方向でセットされているか確認してください。
		[1-2] セットされている電池の残量を他の家電製品にいれるなどして確認してください。 他の家電製品が動かない場合、電池残量がないことが考えられますので、新しいものに交換してください。
		[1-3] 電源プラグがコンセントに差し込まれているか確認してください。
		[1-4] 作動する他の家電製品の電源プラグをコンセントに接続し、正しく作動するか確認してください。
		[1-5] 電源アダプターと電源コードが接続されているか確認してください。
		[1-6] 電源コードが断線していないか確認してください。
		 警告 コード類が破損・断線していた場合には直ちに使用をやめ、お買い上げいただいたお店または弊社お客様相談窓口（48ページ）まで連絡してください。
2	音声コントローラーを操作してもベッドが動かない オプション取付けの場合	[2-1] 音声コントローラーのケーブルがコントロールボックスに接続されているか確認してください。
		[2-2] 音声コントローラーのケーブルが断線していないか確認してください。
		 警告 コード類が破損・断線していた場合には直ちに使用をやめ、お買い上げいただいたお店または弊社お客様相談窓口（48ページ）まで連絡してください。
3	ベッドフレームが水平にならない	[3-1] 可動部に布団や毛布などがはさまれていないか確認してください。
		[3-2] 背部、脚部の可動を邪魔するものがベッド周辺にないか確認してください
		[3-3] ベッド周辺の家具備品、部屋の構造物から十分な距離が取れているか確認してください。

■ 確認内容を行っても状態が直らない場合は、
お買い上げいただいた販売店または弊社お客様相談窓口（48ページ）までご連絡ください。

■ ベッド動作中や乗り移る際に「ギシギシ」や「ギーギー」などの音が鳴ることがありますが故障ではありません。
音が大きくなる、ベッド動作に異常が出る等の問題が発生した際は、直ちに使用を止め、お買い上げいただいた販売店または弊社お客様相談窓口（48ページ）までご連絡ください。

- 停電などが原因で背部や脚部が上がったまま停止してしまった場合、そのまま停電が終わるまでお待ちいただければ、背部や脚部は再び操作できます。

ベッドのポジションが悪く、就寝に支障をきたす場合は電源アダプターへ同梱されている9Vの電池を2個入れて、リモコン操作により背部、脚部をフラットにしてください。

9V電池の取り付けは下記を参照して行ってください。

電源アダプターへの9V電池の取り付け

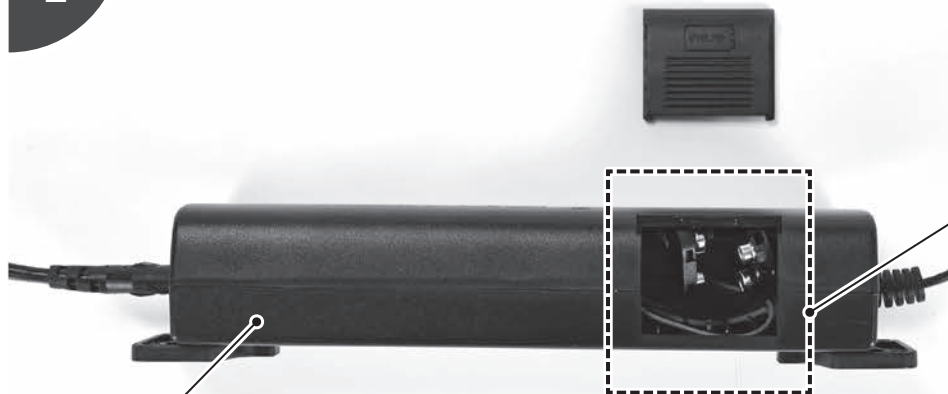
1



電源アダプター

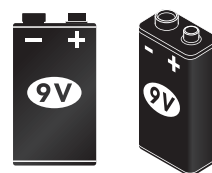
このカバーをスライドして取り外してください。

2



電源アダプター

ここに9V電池を2個取り付けてください。



9V電池

注 意 事 項

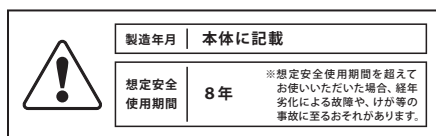
- この機能は非常用です。停電時にベッドポジションをフラットに戻し、就寝できる状態にすることのみを想定しています。
背部、脚部を上げることを想定していませんので注意してください。
- お使いの電池残量がないまたは、少ない場合は動作しません。動作しない場合は、新しい電池に交換してください。
- 通常使用時は電源アダプターから9V電池を全て取り外してください。

完成サイズ 重量	シングル	2M	幅97×長198×27 (cm) / 44.0kg
		3M	幅97×長198×27 (cm) / 90.0kg
		4M	幅97×長198×27 (cm) / 87.0kg
	セミダブル	2M	幅120×長198×27 (cm) / 54.0kg
		3M	幅120×長198×27 (cm) / 100.0kg
		4M	幅120×長198×27 (cm) / 97.0kg
※耐荷重			130kg
使用可能人数			1人
背上げ角度			0～65°
脚上げ角度			0～38°
昇降高さ			0～30cm (無段階) ※3M・4M
ベッド全体傾斜角度			0～13° (無段階) ※4M
定格電圧			AC100V
定格周波数			50/60Hz
定格消費電力			150w
連続運転時間			2分未満
材質			スチール、合板、ポリエステル、ウレタンフォーム
原産国			中国

※耐荷重＝利用者体重＋マットレス重量＋付属品の重量

1. 本体の表示内容

経年劣化により事故や故障の発生が高まるおそれがあることを注意喚起するために、製造年月と想定安全使用期間を本体に表示しております。



2. 想定安全使用期間とは

一般家庭にてご使用いただく弊社電動ベッドにおいて、標準的な条件（下記4.参照）の下で、適切な取扱いで使用し、適正な維持管理（定期点検）が行われた場合に、安全上支障なく使用できる期間として想定される期間です。無償保証期間とは異なります。定期点検については43ページをご参照ください。

また、偶発的な事故・故障が発生しないことを保証するものではありません。

※標準的な使用条件を超える使用頻度や使用環境でご使用された場合は、想定安全使用期間よりも早く経年劣化による故障やケガ等の事故が発生するおそれがあります。

3. 経年劣化とは

長期間にわたる使用や処置に伴い生じる劣化をいいます。

4. 標準的な条件

環境条件	電圧	単相100V	製品の定格電圧による
	周波数	50Hz 及び/又は60Hz	
	温度	25℃	
	湿度	65%	
	設置	標準設置	組立取扱説明書・保証書による
負荷条件	マットレス	弊社が指定する適合品	
	負荷	70kg（成人男性を想定した重量）	
想定時間	1日の使用回数	3回	
	1年間の使用日数	365日	

1. 保証書

保証期間は、必ず「販売店・お買い上げ日」などの記入をお確かめになり、記載内容をよくお読みいただき大切に保管してください。

保証期間はお買い上げ日より1年間です。

販売店名・お買い上げ日の記入がない場合は、品番・販売店名・お買い上げ日が確認できるように、領収書などを保証書と一緒に保管してください。

2. 修理を依頼されるとき

本書（取扱説明書）「[13]故障かな?と思ったら」（44ページ）に従って確認してください。

それでも直らないときは、ベッドの電源プラグをコンセントから抜いて、お買い上げいただいた販売店または、下記3.の弊社お客様相談窓口までご連絡ください。

修理をご依頼される際にお伝えいただきたい内容

- 品名、品番
- 故障または異常の内容（できるだけ詳しく）
- お買い上げ日
- お名前、ご住所および電話番号

■ リモコンについて…… リモコンは消耗部品です。ボタンなど、印字部の使用または経年劣化による剥がれの修理対応は有償になります。

保証期間内のとき

保証書の記載内容に基づき無償で修理いたします。ただし、保証期間内でも修理が有償になる場合があります。詳しくは保証書をご覧ください。

保証期間が過ぎているとき

修理により使用できる製品については、ご要望により有償で修理いたします。

3. アフターサービスについてご不明な場合

お買い上げいただいた販売店または、下記の弊社お客様相談窓口までご連絡ください。

お客様相談窓口

フリーダイヤル 0120-316-066

受付時間：平日10:00～17:00（土・日曜日、祝祭日、年末年始および弊社休日は除きます）

➡ 保証書 ⬅

品名	iD-motionシリーズ
保証期間	本体：1年

お買い上げ日		年 月 日
お客様	お 名 前	
	ご 住 所	〒□□□-□□□□
	Tel.	☎ ()
ご販売店	店 名	
	住 所	
		☎ () 印

(本書とお買上げ納品書または領収書を一式としてご提示ください。)

この保証書は、本書記載内容で無料修理を行うことをお約束するものです。お買上げの日から前記保証期間中に、取扱説明書、本体ラベルなどの注意書きにしたがった正しい使用状態で故障・破損した場合は、本書と納品書または領収書を一式として、ご提示のうえ、お買上げいただいた販売店に修理をご依頼ください。
※本保証書は再発行いたしませんので、大切に保管してください。

保証規定

1. 保証期間内において、取扱説明書にしたがった正常なご使用状態において故障した場合には、無償で修理いたします。
2. 次のような場合には、保証期間内でも有償保証になります。
 - (1) 使用上の誤り、あるいは不当な改造や修理による故障及び損傷
 - (2) お買上げいただいた後の移動、設置、落下あるいは輸送による故障および損傷
 - (3) 火災、塩害、異常電圧および地震、風水害、落雷その他、天災地変などによる故障
 - (4) 保証書と納品書または、領収書のご提示がない場合
 - (5) 離島または離島に準ずる遠隔地の出張修理を行う場合の出張に要する実費
 - (6) 表張材、塗膜などの外観部分の変化やキズ等の場合
3. 本保証書は日本国内においてのみ有効です。

※この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。従ってこの保証書によって、お客様の法律上の権利を制限するものではありません。保証期間経過後の修理についてご不明の場合は、お買上げいただいた販売店、または弊社お客様相談窓口にお問い合わせください。

所属団体名 **全日本ベッド工業会**

